

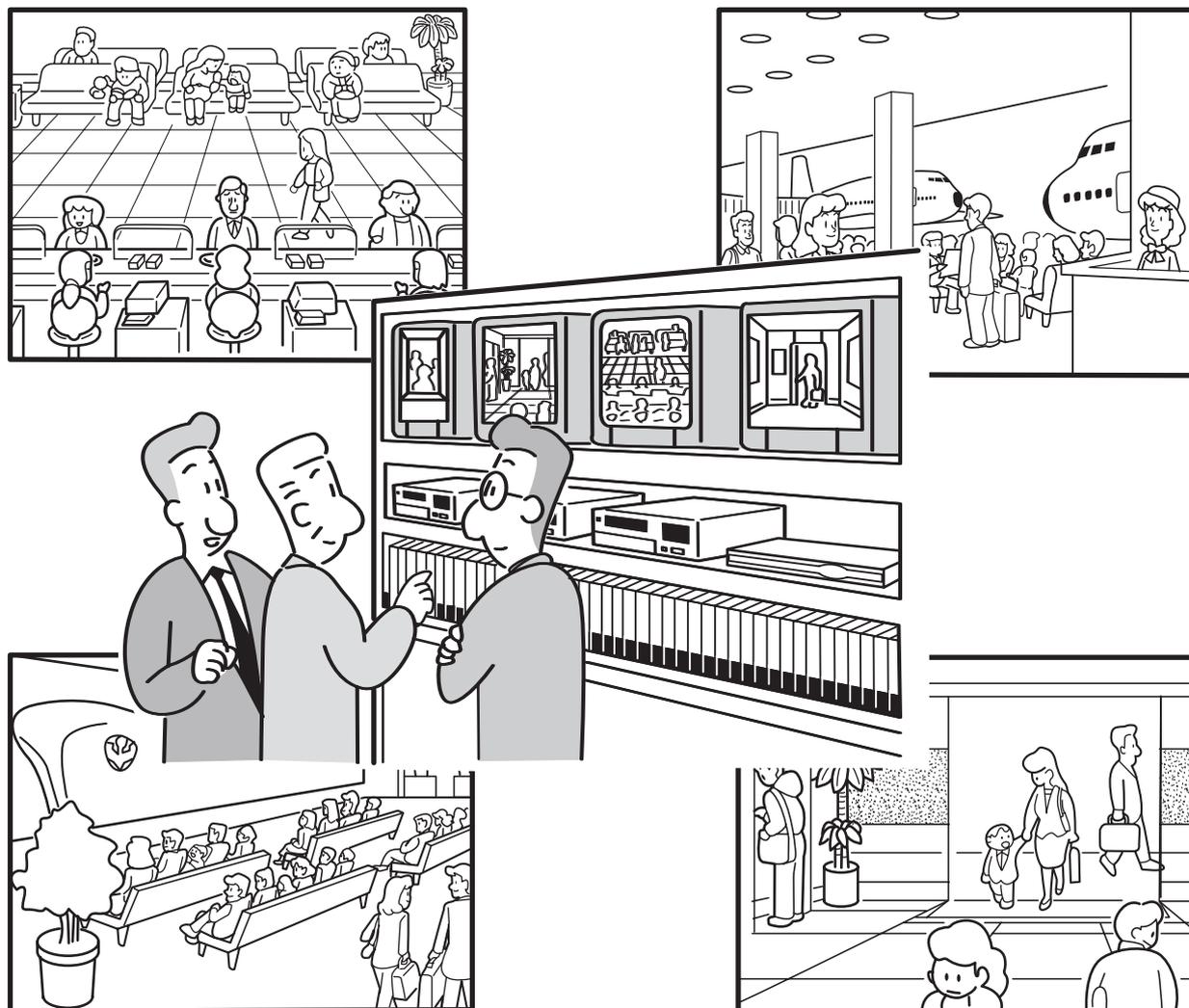
ハードディスク
タイムラプスレコーダー

HDD-TL

Panasonic[®]

AG-HTL2

取扱説明書



入門

操作

接続・設定

ご参考

保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店よりお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために	4
はじめに	6

本書の読みかた

どなたも必ずお読みください。

『安全にお使いいただくために』

『はじめに』

操作する方は

まず『入門編』を読んで本機の動作のあらましを理解
いただいた上で、『操作編』をお読みください。

設置する方は

まず『入門編』を読んで本機の動作のあらましを理解
いただいた上で、『接続・設定編』をお読みください。

入門編

録画動作について	8
各部のなまえ	10

操作編

録画する	12
検索・再生のあらまし	15
HDD タイムサーチ	17
HDD アラームサーチ	18
VTR サーチ	19
バックアップする	20
時計を合わせる	22

接続・設定編

接続・設定のあらまし	24
基本的な接続	26
AG-DTL2 との接続	27
フレームスイッチャーとの接続	28
入力ターミナルの接続	29
出力ターミナルの接続	30
設定メニューについて	31
メニュー P1	32
メニュー P2	33
メニュー P3	34
メニュー P4	36
メニュー P5	37
メニュー P6	38
メニュー P7	39
メニュー P8	41
メニュー P9	43

ご参考

故障かなと思ったら	44
仕様	45
アフターサービス	47

安全にお使いいただくために

絵表示の例

	記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたら



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して当社サービス部門に修理をご依頼ください。

水にぬらさない



この機器を水にぬらさないでください。また、花びんや水などの入った容器をこの機器の上に置かないでください。内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。内部に水が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社サービス部門にご連絡ください。

内部に異物を入れない



この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない



電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となります。

交流100ボルト以外の電源で使用しない



交流100V以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

カバーを開けない



この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は当社サービス部門にご依頼ください。

改造しない



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

適さない設置場所



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
- ・ 直射日光があたる場所
- ・ 振動が激しい場所

接続前の注意



他の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書にしたがって接続してください。また、接続には指定のコードを使用してください。

通風孔をふさがない



両サイドの4 cm以内に物を置かないでください。そばに物を置くと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

上に物を置かない



この機器の上に物を置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。また、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれた手で電源プラグにさわると、感電の原因となることがあります。

電源コードを持って抜かない



コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。電源コードを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

移動させるときは



電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから移動してください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れのさいは



安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

長期間ご使用にならないときは



長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめに

設置場所について

使用環境

確実な動作のために下記の環境のもとでご使用ください。

- ・ 温度：5～35
- ・ 湿度：5～80%RH（結露なきこと）

水平に、振動を避けて

本製品は水平に設置してください。また、ハードディスクを内蔵していますので、振動、衝撃が加わらないようにしてください。

他の機器を上に乗けない

本製品の上に他の機器を置かないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

両サイドに物を置かない

両サイドの4 cm以内に物を置かないでください。そばに物を置くと内部に熱がこもり、故障の原因となります。

強力な磁気、静電気のあるところに置かない

本製品を強力な磁気や静電気の発生するところに置かないでください。故障の原因となります。

結露に注意

内蔵のハードディスクは急激な温度・湿度の変化にさらされると結露が生じ、故障の原因となることがあります。結露はつぎのようなときに発生しやすいのでご注意ください。

- ・ 暖房を始めたばかりの部屋
- ・ 寒い所から暖かい部屋に移動したとき
- ・ 夏季にエアコンの冷風が直接あたる所
- ・ 湿気の多い所

このようなときは、本製品が周囲の温度になじむまで電源を入れないでください。

おことわり

本製品に生じた故障または不具合につきましては、当社所定のサービス基準に基づき、修理若しくは交換させていただきます。本製品の故障または不具合に起因する当社の損害賠償責任は、いかなる場合も、本製品の修理もしくは交換に限らせていただきます。ただし、製造物責任法に基づき製造者が負うべき賠償責任には、上記制限は適用されません。

特長

本機は監視画像用の録画装置で、1チャンネルの画像入力信号をデジタル化して内蔵のハードディスクに記録します。

高画質

最短で1/60秒の録画間隔、Motion-JPEG圧縮方式により、高画質の録画が可能です。

録画同時再生

録画を停止せずに再生することができます。

用途に合わせた設定

用途に合わせて録画間隔は15種類から、画質は7種類から選択することができます。

長時間連続録画

たとえば録画間隔1/3秒、画質S1、音声つきで録画した場合、7日間の連続録画が可能です。（p.46）

スケジュール録画

1週間分のスケジュールを設定し、曜日ごとに異なる設定で動作させることができます。

外部タイマー動作

本機の電源を外部のプログラムタイマーの電源出力からとれば、タイマー動作をさせることができます。

便利な検索機能

録画日時を指定しての検索、アラームの履歴から選択しての検索が可能です。

AG-DTL2と組み合わせ

当社デジタルタイムラプスビデオカセットレコーダーAG-DTL2と組み合わせるとつぎのようなことができます。

- ・ AG-DTL2との同時録画（ハイブリッド検索モード）
- ・ 本機で記録した画像をAG-DTL2のテープにダビングする。（ハイブリッドバックアップモード）
- ・ AG-DTL2のテープに記録した画像を本機からの操作で検索し再生する。

その他の特長

- ・ 音声も録音
- ・ 外部信号による録画開始
- ・ 外部信号による時刻合せ
- ・ カメラ切り替え信号を出力
- ・ 録画中に停電しても、電源復帰後に自動的に録画開始

入門編

録画動作について.....	8
各部のなまえ.....	10

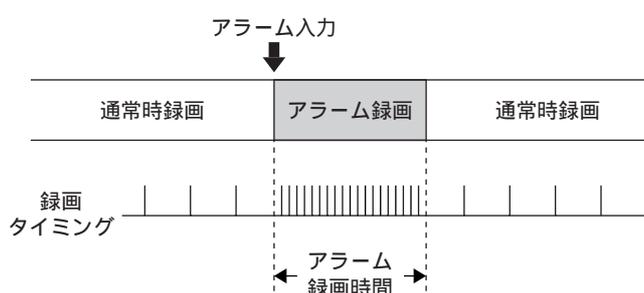
録画動作について

アラーム録画

録画時にアラーム入力があると、画質と録画間隔を変えて録画することができます。これにより連続で録画しながらアラーム時だけ録画密度を上げられます。アラーム録画動作中は前面の外部アラーム入力ランプが点灯します。

アラーム録画動作の時間は、つぎの3つから選択できます。

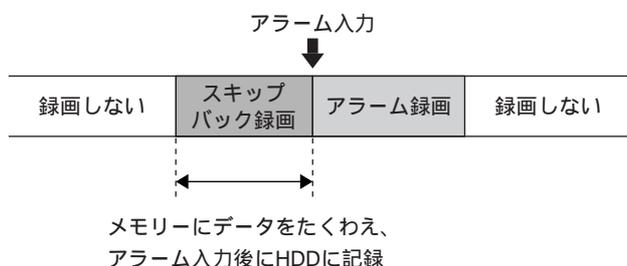
- ・アラーム入力信号が元に戻るまで、またはアラームリセット信号が入力されるまで
- ・指定時間が経過するまで
- ・録画を停止するまで



アラーム入力中だけ録画するように設定することもできます。その場合は録画ボタンを押すと録画待機状態になり、アラーム入力中だけ録画して、その後録画待機状態に戻ります。

スキップバック動作

アラーム入力中とその直前の画像を録画するモードです。このモードでは録画ボタンを押すとメモリーに画像データをたくわえ始めます。メモリー内のデータは常に最新のものに更新されます。アラームが入力されるとメモリー内のデータをハードディスクに書き込むと同時にその時点からの画像を記録します。



アラーム入力前とアラーム入力中のそれぞれに画質、録画間隔などを設定することができます。

スケジュール録画時、外部タイマー動作時、ハイブリッド検索モード時はこのモードでの録画はできません。

スキップバック録画時間についてはp. 35を参照ください。

センサー録画

録画を停止している状態や、スケジュール録画で録画時間に指定されていない時間にアラーム入力があると、すぐにセンサー録画動作をさせることができます。センサー録画後はアラームが入力される前の状態に戻ります。



録画時間はアラーム録画と同様に設定できます。

ハイブリッド検索モードで録画停止中にアラーム入力があった時は、本機のみが録画し、AG-DTL2は録画しません。

アラーム録画との併用

アラーム録画とセンサー録画とを併用することができます。録画中にアラームが入力されるとアラーム録画動作になり、録画停止状態やスケジュール録画待機中にアラームが入力されてもすぐにセンサー録画動作になります。

センサー録画とスキップバック動作との併用はできません。

ハードディスクモード

内蔵ハードディスクへの書き込み動作をつぎの3つの中から選択できます。

上書きモード

ハードディスクがフルになると古い画像から順に上書きして録画を続けます。出荷時はこのモードに設定されています。

上書き禁止モード

ハードディスクがフルになると録画は止まり、それ以上録画できなくなります。このモードではモニター画面の右上にハードディスクの使用率が表示されます。

ハードディスクがフルになった時にふたたびこのモードで録画を始めるには、いったんハードディスクをフォーマットし直す必要があります。(p. 42)

録画禁止モード

再生専用のモードです。このモードにするといっさい録画できません。ハードディスクのフォーマットもできません。

録画動作について

スケジュール録画

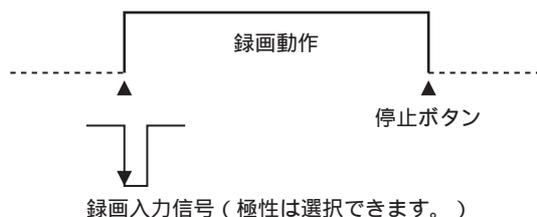
1週間分のスケジュールを設定し、曜日ごとに異なる設定で動作させることができます。設定可能な項目は、曜日、時間帯、画質、音声録音の有無、録画間隔です。AG-DTL2と組み合わせた場合は、後述する同時録画、バックアップを自動的に行うことができます。

外部タイマー録画

本機の電源を外部のプログラムタイマーの電源出力からとれば、タイマー動作をさせることができます。

録画入力信号による録画開始

外部からの録画入力信号により録画を開始させることができます。



AG-DTL2 と組み合わせて

スタンドアロンモード

本機から AG-DTL2 単体の録画・再生動作をコントロールすることができます。コントロールスイッチを [外部 VTR] 側に切り替えてください。

ハイブリッド検索モード

本機と AG-DTL2 とで、同時に録画を開始、停止させることができます。このモードでは、本機から AG-DTL2 内のカセットテープに対して ID 番号が発行されます。この番号は AG-DTL2 のカセットテープに記録した画像を本機からの操作で検索するときに便利です。（このモードでは音声は録音できません。）

ハイブリッドバックアップモード

本機で記録した画像を AG-DTL2 のカセットテープにダビングすることができます。（ただし、音声はダビングできません。）バックアップしたカセットに対しても ID 番号が発行されます。また、前述のスケジュール録画機能と併用して、日中録画したデータを深夜に自動的にバックアップするなどの動作が可能です。バックアップ動作中も録画することができます。

その他の便利な機能

時刻合せ入力信号による時刻校正

外部からの時刻合せ入力信号により内蔵時計の 15 分以内のくまを補正することができます。また、指定の正時に合わせることもできます。

ハードディスクフルの通知

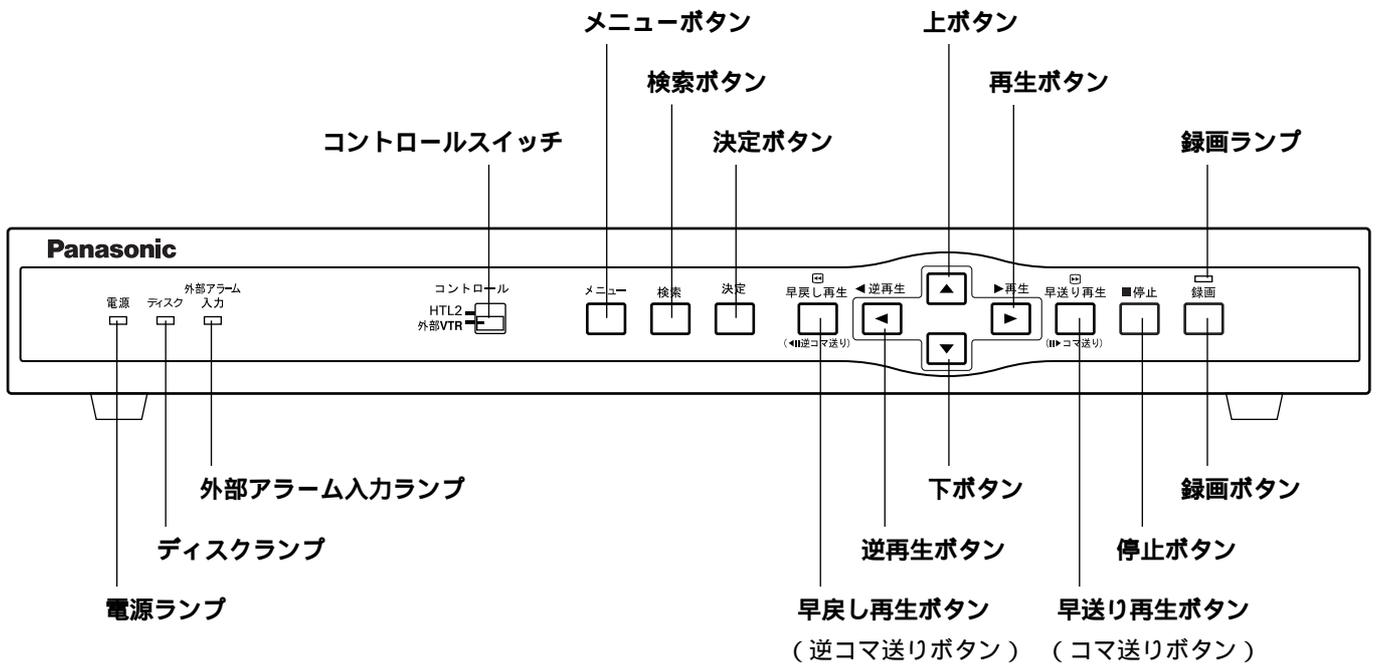
ハードディスクモードが上書き禁止モードの場合に、ハードディスクが指定残量になった時に HDD フル出力端子に信号を出力します。

カメラ切り替え信号の出力

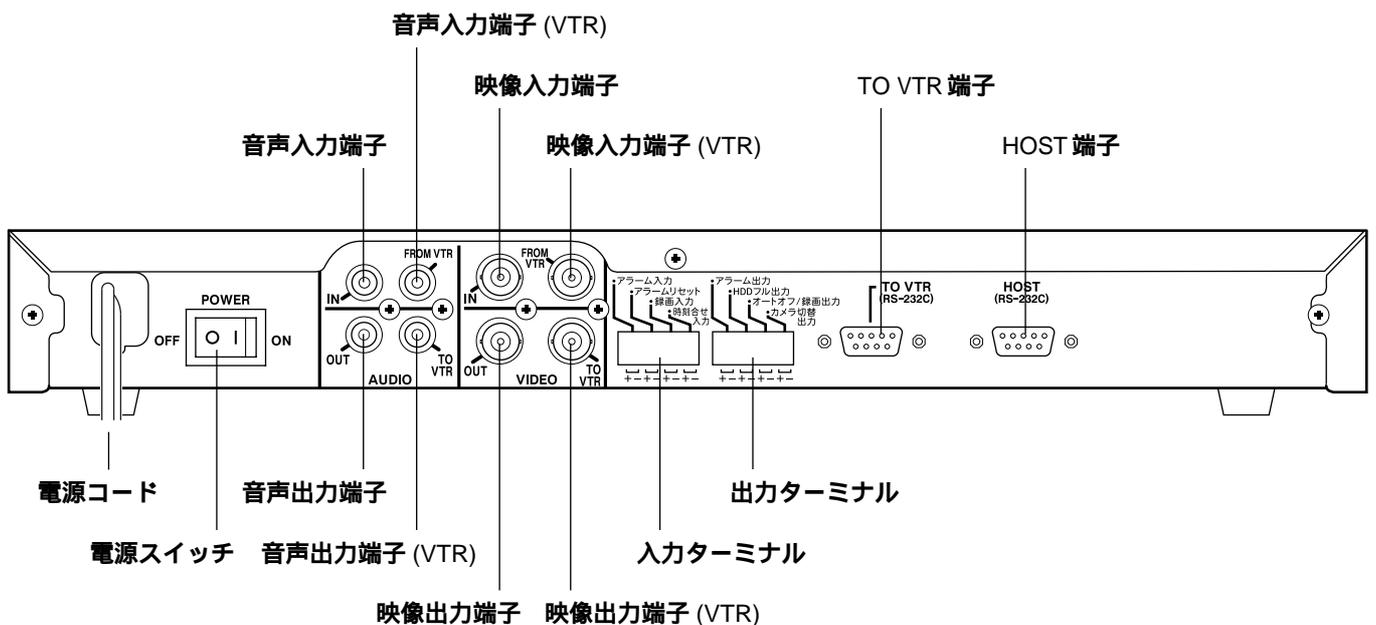
録画中はフレームスイッチャーにカメラ切り替え信号を出力します。また、フレームスイッチャーからのカメラインデックス信号も記録しますので、複数のカメラとモニターを対応させた再生が可能です。（ただし指定のスイッチャーで録画間隔が 1/60 秒以外の場合）

各部のなまえ

前面



背面



操作編

録画する	12
検索・再生のあらまし	15
HDD タイムサーチ	17
HDD アラームサーチ.....	18
VTR サーチ	19
バックアップする	20
時計を合わせる	22

録画する

スタンドアロンモードで本機で録画する

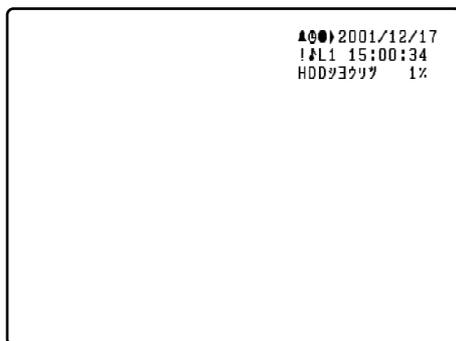
スタンドアロンモードの設定方法については『接続・設定編』をお読みください。

外部タイマーモードの場合は録画ボタンを押さなくても電源を入れるとすぐに録画が始まります。

録画入力端子への信号で録画を開始させる場合、またはスケジュール録画の場合は、録画ボタンを押さないでください。

動作モード設定で通常時（非アラーム時）は録画しない設定にした場合は、録画ボタンを押しても録画待機状態（アラーム入力待ち状態）になるだけで、すぐには実際の録画を開始しません。

- 1 電源スイッチのON側を押し、電源を入れます。
- 2 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。
- 3 録画ボタンを押します。録画が始まり、録画ランプが点灯します。



画面右上の文字情報は**決定**ボタンを押すことにより消すことができます。

- 4 録画を停止するには、**停止**ボタンを押しながら**録画**ボタンを押します。

スケジュール録画の開始

スケジュール録画を開始するには録画ボタンを押す必要はありません。メニューP1で「ナイブタイマー」を選択すると自動的にスケジュール動作に入ります。もし現在が録画することに設定した時刻の場合は、すぐに録画が始まります。スケジュール録画中に手で録画を停止した場合は、あらためてメニューP1で「ナイブタイマー」を選択し直すことによりスケジュール録画に戻すことができます。

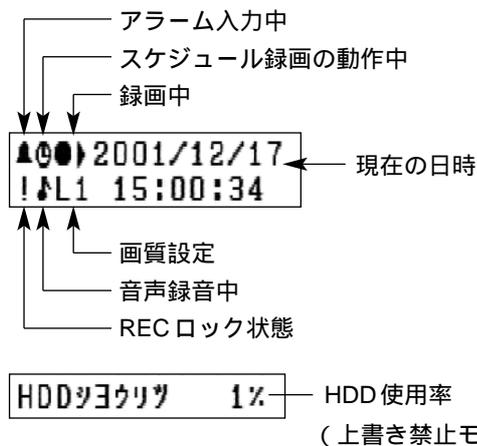
スタンドアロンモードでAG-DTL2で録画する

スタンドアロンモードの設定方法については『接続・設定編』をお読みください。

AG-DTL2の設定、操作についてはAG-DTL2に付属の取扱説明書をお読みください。

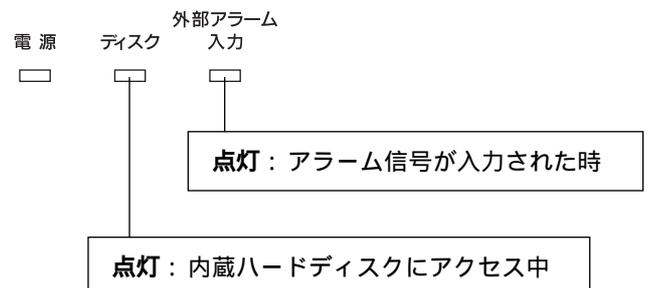
- 1 本機の電源スイッチのON側を押し、電源を入れます。
- 2 コントロールスイッチを外部VTRに切り替えます。
- 3 AG-DTL2の電源を入れ、カセットテープを入れます。
- 4 本機の**録画**ボタンを押します。AG-DTL2で録画が始まります。
- 5 録画を停止するには、本機の**停止**ボタンを押しながら**録画**ボタンを押します。

HDD 録画中の画面右上の表示



アラーム入力の表示はアラーム出力信号に同期します。録画にかかわるエラーが発生した時は録画中表示が「×」に変わります。

HDD 録画中のランプ表示



録画する

ハイブリッド検索モードで同時録画する

ハイブリッド検索モードの設定方法については『接続・設定編』をお読みください。

ハイブリッド検索モードで同時録画中は、AG-DTL2を操作しないでください。

ハイブリッド検索モードで録画を開始するときは、コントロールスイッチの切り替えはどちらでもかまいません。

1 AG-DTL2の電源を入れ、カセットテープを入れます。

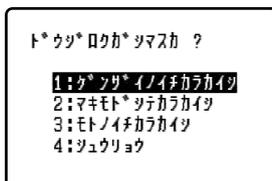
2 本機の電源スイッチのON側を押し、電源を入れます。

外部タイマーモードの場合は電源を入れるとすぐに録画が始まります。

録画入力端子への信号で録画を開始させる場合、またはスケジュール録画の場合は、これで録画待機状態になります。録画ボタンを押さないでください。

3 録画ボタンを押します。

モニターに下のように表示されます。



4 テープのどの位置から録画するかを ボタン、 ボタンで選択し、**決定**ボタンを押します。

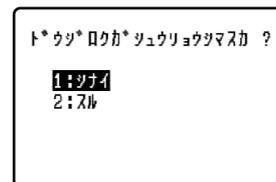
- 1: テープの現在の位置から録画します。
- 2: テープを先頭まで巻き戻してから録画します。
- 3: 再生に使ったテープにそのまま録画する場合、再生前の位置に戻ってそこから録画します。
(ただし、イジェクトしたりカウンターをリセットしたりすると元の位置に戻れません。)
- 4: 録画せずに通常画面に戻ります。

外部タイマーモードの場合、録画入力信号で録画を開始させる場合、スケジュール録画の場合は、テープの現在の位置から録画します。

AG-DTL2側の準備のために、録画が始まるまで約2分ほどかかります。その間は操作しないでください。

AG-DTL2のテープが巻き終わりにになると、「テープシュータンデス」とメッセージが表示され、AG-DTL2の録画は終了します。(本機の録画は続きます。) AG-DTL2で録画を再開するにはカセットを交換してから手順3から繰り返してください。

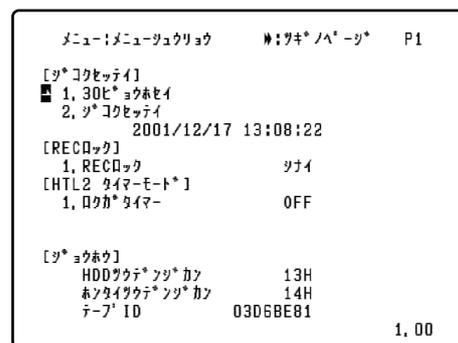
5 録画を停止するには、**停止**ボタンを押しながら**録画**ボタンを押します。モニターに下のように表示されます。



6 ボタンを押して「スル」を反転させ、**決定**ボタンを押します。

テープIDの確認

メニューボタンを押すと表示されるメニューP1の一番下の行に、カセットに対して発行されたIDが表示されます。この8桁の番号は検索する際に便利です。カセットを取り出した時にラベルに書いておいてください。



元の画面に戻るにはもう一度**メニュー**ボタンを押します。

録画する

録画停止の操作を禁止する

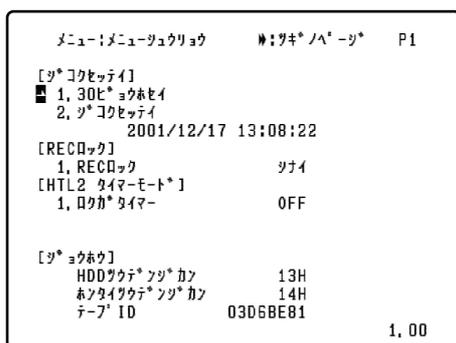
録画停止の操作を禁止することができます。ただし、禁止しても録画停止操作以外の操作は可能です。

下記の操作は録画開始前でも録画中でも可能です。

1 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。

2 メニューボタンを押します。

モニターにメニュー画面「P1」が表示されます。



3 ボタンを2回押して、 を「1. RECロック」の左に移動させます。「シナイ」が反転表示されます。

4 ◀ボタン、または▶ボタンを押します。

「シナイ」が「スル」に変わります。

5 メニューボタンを押します。

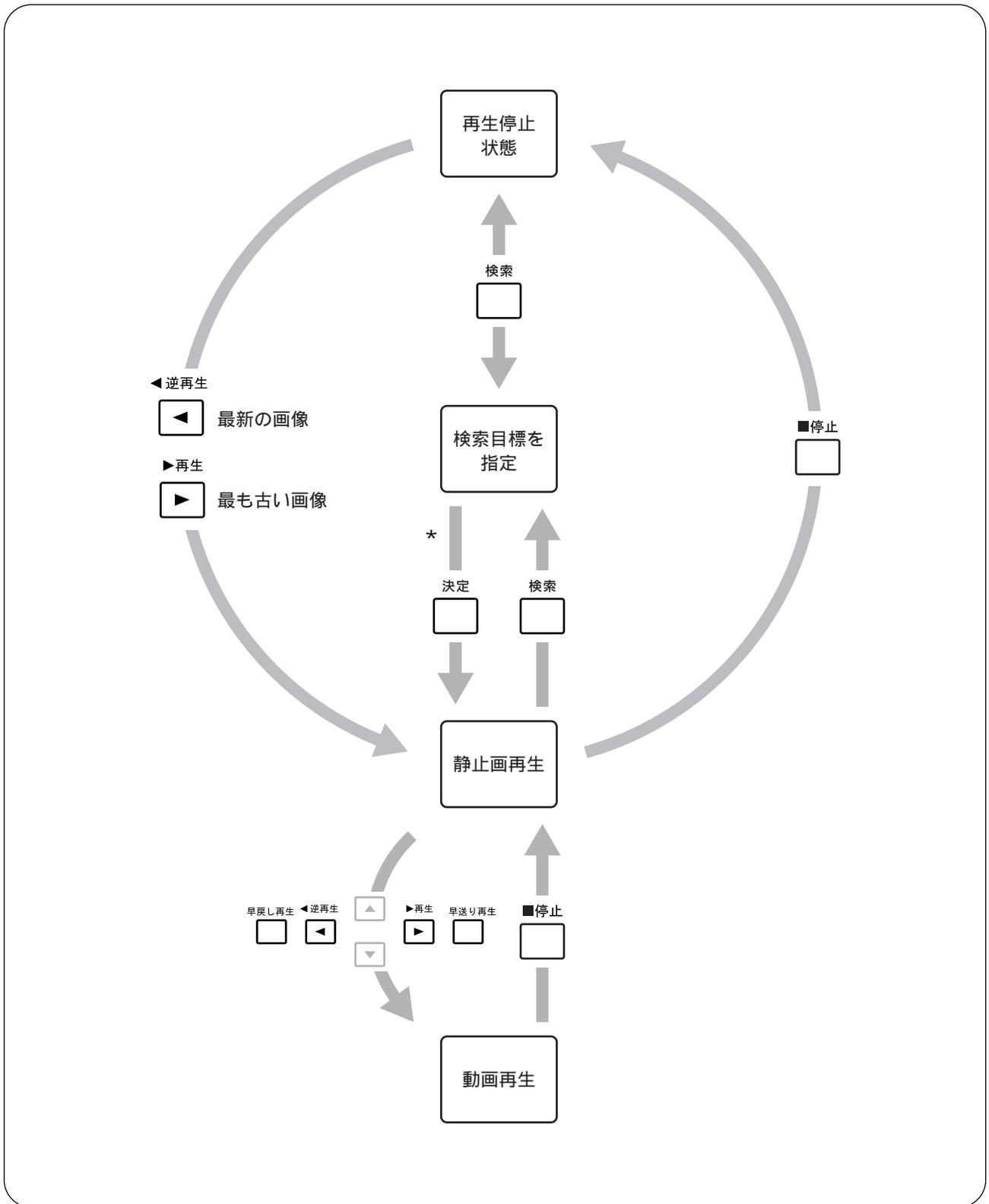
通常の画面に戻ります。画面右上の時刻表示の左に「！」マークが現れます。

録画停止の操作をすると画面に「RECロック」と表示されます。

6 ロックを解除するには、上記と同じ手順で「スル」を「シナイ」に変えます。

検索・再生のあらまし

画像の検索・再生のおおまかな手順を下に示します。



* 静止画から検索画面に戻った場合に、検索目標を変更しないで元の静止画再生に戻りたい時は、**検索**ボタンを押してください。

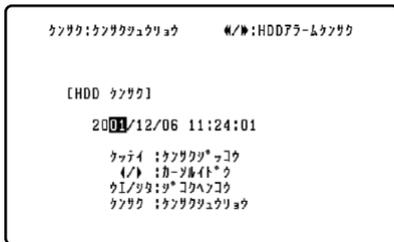
検索・再生のあらまし

2とおりの検索方法

画像の検索目標を指定するにはつぎの2とおりの方法があります。

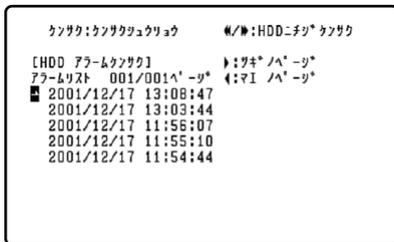
《タイムサーチ》

録画の日時を指定して検索します。指定した時刻に録画した画像がないときは、最も近い時刻の画像が表示されます。



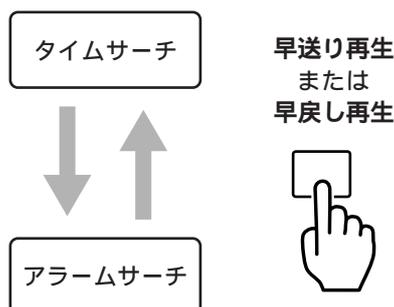
《アラームサーチ》

アラームが入力された時刻のリストから再生したいものを選択します。本機とAG-DTL2との両方にアラームを入力した場合のAG-DTL2に対する検索は可能です。手順については『VTRサーチ』(p. 19)を参照してください。ただし、センサー録画、アラーム/センサー併用時は、AG-DTL2に対するこの検索はできません。



検索方法の切り替え

HDDから再生する場合は、**検索ボタン**を押すと上記の2つのうち前回に選択した検索画面が表示されます。違う検索方法を選択したいときは**早送り再生**ボタンまたは**早戻し再生**ボタンを押すと、他方の検索画面に変わります。



再生のしかた

- ▶再生
 再生になります。
- ◀逆再生
 逆方向の再生になります。
- 停止
 再生が一時停止します。一時停止してからもう1回押すと再生は停止します。
- 早送り再生
 再生中に押すと、押すたびに再生速度が速くなります。一時停止(静止画)状態で押すとコマ送りになります。AG-DTL2に対しては、停止してから押すと早送りになります。
- 早戻し再生
 再生中に押すと、押すたびに逆方向の速い再生になります。一時停止(静止画)状態で押すと逆方向のコマ送りになります。AG-DTL2に対しては、停止してから押すと巻き戻しになります。

便利な再生

最新の画像を再生する

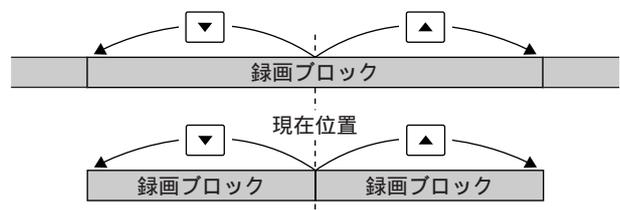
- ▶逆再生
 再生停止状態で逆再生ボタンを1回押すと最新画像が静止画で表示されます。もう1回押すと、そこから逆方向に再生することができます。

最も古い画像を再生する

- ▶再生
 再生停止状態で再生ボタンを1回押すと最も古い画像が静止画で表示されます。もう1回押すと、そこから再生することができます。ただし、録画中の再生で、ハードディスクモードが上書きの場合は、最も古い画像は常時更新されますので、動画再生を始めた時に最初の静止画から時間が飛ぶことがあります。

前後のブロックにジャンプする (HDDからの再生時)

再生中に ボタン / ボタンを押すと、次 / 前の録画ブロックの先頭の画像が静止画で表示されます。(録画ブロック: 録画開始から停止までのひと固まりのデータ)

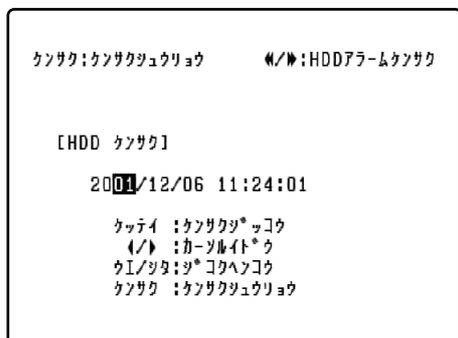


HDD タイムサーチ

1 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。

2 検索ボタンを押します。

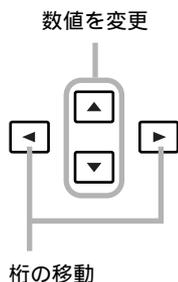
下の画面にならないときは、**早送り再生ボタン**または**早戻し再生ボタン**を押してください。



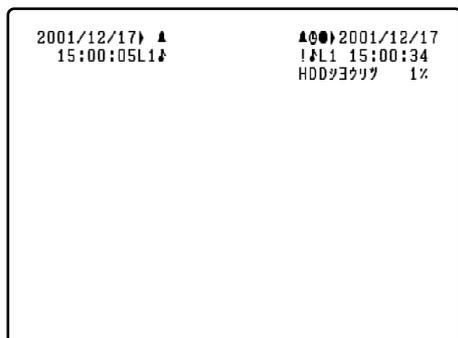
元の画面に戻るには**検索ボタン**を押します。

3 再生したい画像の録画日時を入力します。

◀ ボタン、▶ ボタンで変更する桁に反転表示を移動し、
ボタン、 ボタンで数値を変更します。



4 決定ボタンを押します。指定した時刻の画像が一時停止の状態が表示されます。



画面の文字情報は設定によってはさらに**決定ボタン**を押さないと表示されません。表示を消すにはもう一度**決定ボタン**を押します。(メニューP8)

指定した時刻に録画した画像がないときは、最も近い時刻の画像が表示されます。

この状態で**検索ボタン**を押すと、手順2の画面に戻り、時刻を指定し直すことができます。

5 再生ボタンを押します。動画の再生が始まります。

録画中に再生する場合、ハードディスクのアクセスが追いつかない時は再生画像が静止画になることがあります。

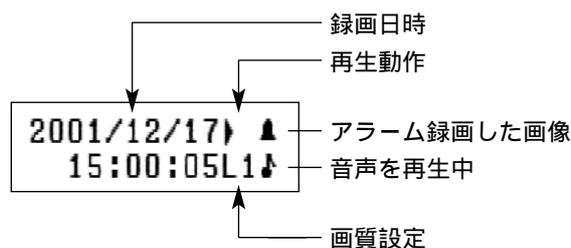
検索し直す

まず**停止ボタン**を押すと一時停止になります。次に**検索ボタン**を押すと時刻指定画面に戻ります。

再生を終える

停止ボタンを2回押します。

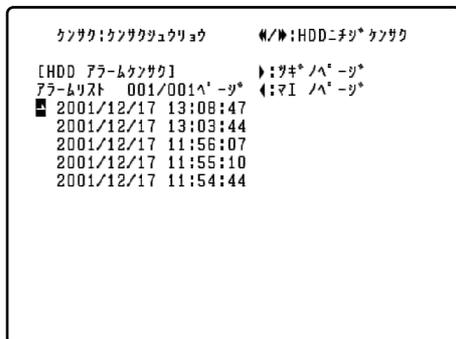
再生中の画面左上の表示



1 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。

2 検索ボタンを押します。

下の画面にならないときは、**早送り再生ボタン**または**早戻し再生ボタン**を押してください。



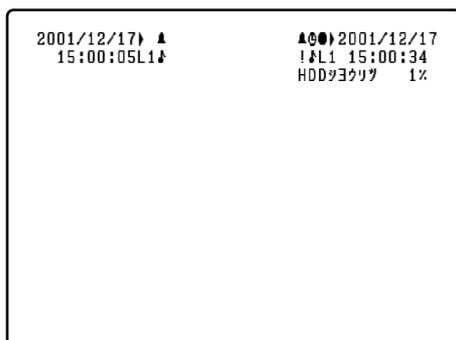
元の画面に戻るには**検索ボタン**を押します。

ページを切り替える

アラームが10件をこえるとリストは複数のページにわたります。その場合は▶ボタンで次ページに切り替わり、◀ボタンで前ページに戻ります。(表示されるアラームの最大件数は最新の1000件です。)

3 ボタン、ボタンで再生したいアラームの行に を移動します。

4 決定ボタンを押します。選択したアラームの画像が一時停止の状態が表示されます。



画面の文字情報は設定によってはさらに**決定ボタン**を押さないと表示されません。表示を消すにはもう一度**決定ボタン**を押します。(メニューP8)

この状態で**検索ボタン**を押すと、手順2の画面に戻り、アラームを選択し直すことができます。

5 再生ボタンを押します。動画の再生が始まります。

録画中に再生する場合、ハードディスクのアクセスが追いつかない時は再生画像が静止画になることがあります。

検索し直す

まず**停止ボタン**を押すと一時停止になります。次に**検索ボタン**を押すとアラーム選択画面に戻ります。

再生を終える

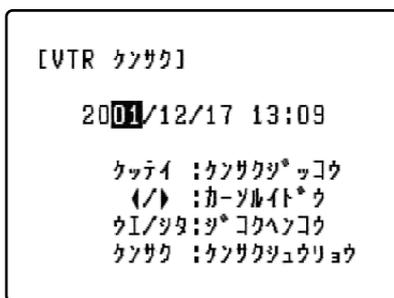
停止ボタンを2回押します。

VTRサーチ

AG-DTL2のカセットテープに、ハイブリッド検索モードまたはハイブリッドバックアップモードで録画した場合は、テープの画像を検索・再生することができます。

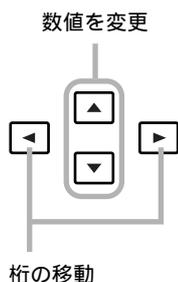
スタンドアロンモードで録画したカセット、およびマニュアル操作で「ニチジロシテイシテ...」を選択してバックアップしたカセットは本機から検索できません。

- 1 AG-DTL2に再生するカセットテープを入れます。
- 2 コントロールスイッチを外部VTRに切り替えます。
- 3 検索ボタンを押します。



元の画面に戻るには**検索**ボタンを押します。

- 4 再生したい画像の録画日時を入力します。
◀ボタン、▶ボタンで変更する桁に反転表示を移動し、
ボタン、ボタンで数値を変更します。



- 5 決定ボタンを押します。
指定した時刻の画像が一時停止の状態が表示されます。

指定した時刻の画像がそのカセットにないときは、カセットがイジェクトされて、

「シタノテープIDノ テープラ イレテ
ケッテイキーヲ オシテクダサイ」

というメッセージとテープIDが表示されます。その場合はそのIDのカセットを入れ、決定ボタンを押します。するとふたたび検索が始まり、指定した時刻の画像で一時停止になります。

再生一時停止状態で**検索**ボタンを押すと、手順3の画面に戻り、時刻を指定し直すことができます。

- 6 再生ボタンを押します。動画の再生が始まります。

本機のバックアップ機能でAG-DTL2にダビングした画像を再生する場合、再生を始めても最初の数秒間、静止画像のままのことがあります。これは故障ではありません。

検索し直す

まず**停止**ボタンを押すと一時停止になります。次に**検索**ボタンを押すと手順3の画面に戻ります。

再生を終える

停止ボタンを2回押します。

VTRに対してアラームサーチするには

本機とAG-DTL2との両方にアラームを入力した場合は、つぎの手順でAG-DTL2に対するアラームサーチが可能です。

- 1 前ページの手順でHDDアラームサーチを実行します。
- 2 希望のアラームの先頭画像が静止画で表示されたら、**コントロール**スイッチを外部VTRに切り替えます。
- 3 **検索**ボタンを押します。
[VTRケンサク]画面の日時入力行にそのアラームの時刻が表示されています。
- 4 **決定**ボタンを押します。
あとは左記の手順5以降と同様の手順で再生することができます。

バックアップする

マニュアル操作でバックアップする

バックアップしたいときに随時バックアップする手順を説明します。

バックアップ動作中は再生できません。また、バックアップ動作中はAG-DTL2を操作しないでください。

バックアップ中にメニュー画面を表示させると、画面の文字情報もAG-DTL2に録画されます。

録画中にバックアップする場合、画面右上の文字情報は消え、AG-DTL2にも録画されません。

録画中にバックアップする場合にハードディスクのアクセスが追いつかない時は、AG-DTL2に送る画像が一時的に静止画になることがあります。

1 録画・再生を停止します。

2 AG-DTL2にカセットテープを入れます。

3 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。

4 メニューボタンを押します。

モニターテレビにメニュー画面「P1」が表示されます。

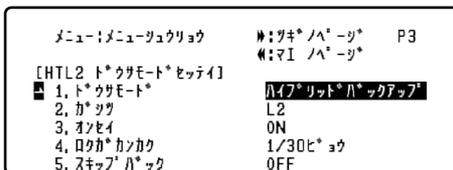
5 早送り再生ボタンを押して、メニュー画面「P2」を表示させます。

6 パスワードを入力し、決定ボタンを押します。

値の変更は ボタン、 ボタンで、桁の移動は ◀ ボタン、 ▶ ボタンで行います。

パスワードの出荷時設定は「****」です。そのままあらためて設定しなければ、パスワードを入力せずに早送り再生ボタンでメニューP3に進むことができます。

7 早送り再生ボタンを押して、メニュー画面「P3」を表示させます。



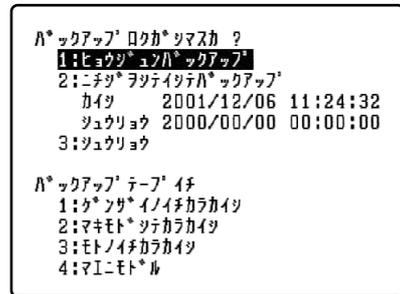
8 ◀ ボタン、または ▶ ボタンを押して、「ドウサモード」の設定を「ハイブリッドバックアップ」に変更します。

9 メニューボタンを押します。通常の画面に戻ります。

10 バックアップ中に本機で録画したいときは録画ボタンを押します。

11 コントロールスイッチを外部VTRに切り替えます。

12 録画ボタンを押します。



13 バックアップ方法を ボタン、 ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

ヒョウジュン：前回のバックアップ以後に録画した画像だけをVTRにダビングします。(次ページ参照)

ニチジロシテイ：バックアップする範囲を日時で指定します。「ニチジロシテイ...」の行を反転させて決定ボタンを押すと「カイト」の行に反転表示が移ります。値の変更は ボタン、 ボタンで、桁の移動は ◀ ボタン、 ▶ ボタンで行い、決定ボタンで確定します。(この場合、テープのサーチはできません。)

シュウリョウ：バックアップせずに通常画面に戻ります。

14 反転表示が「バックアップテープイチ」に移りますので、テープのどの位置から開始するかを ボタン、 ボタンで選択します。

1：テープの現在の位置から開始します。

2：テープを先頭まで巻き戻してから開始します。

3：再生に使ったテープにそのままバックアップする場合、再生前の位置に戻ってそこから開始します。

4：バックアップ方法の選択に戻ります。

15 決定ボタンを押します。

AG-DTL2側の準備のために、バックアップが始まるまで約2分かかります。その間は操作しないでください。

AG-DTL2のテープが巻き終わりにになると、「テープシュウタンデス」とメッセージが表示され、バックアップ動作は終了します。バックアップを続けるにはカセットを交換し、同じ手順を繰り返してしてください。

バックアップを中止するには停止ボタンを押しながら録画ボタンを押します。

16 バックアップが終わると、「バックアップシュウリョウ」とメッセージが表示されますので、手順3～9の要領で「ドウサモード」の設定を元に戻してください。

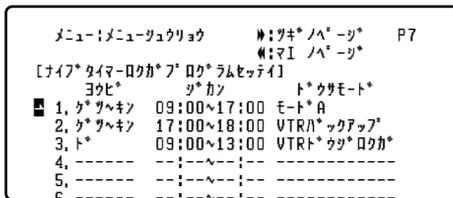
バックアップする

スケジュールバックアップの設定

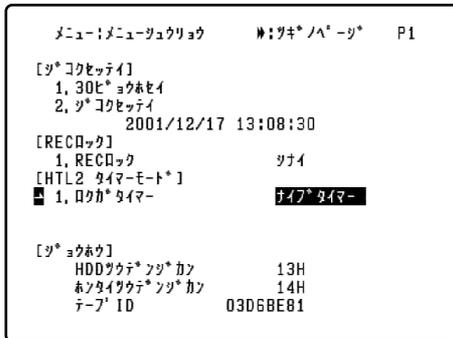
指定時刻に自動的にバックアップさせたい場合の設定方法を説明します。

スケジュール設定の詳細については『接続・設定編』をお読みください。

- 1 AG-DTL2にカセットテープを入れ、バックアップを開始するテープ位置に巻き戻しまたは早送りします。
- 2 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。
- 3 メニュー画面「P7」を表示させ、バックアップを実行する曜日と時刻を設定し、「ドウサモード」を「VTRバックアップ」に設定します。(参照 p. 39)
「モードA～D」と時間帯が重複してもかまいません。



- 4 メニュー画面「P1」を表示させ、「ロカガタイマー」の設定を「ナイフタイマー」に変更します。(参照 p. 32)



- 5 メニューボタンを押して通常の画面に戻します。
録画ボタンは押さないでください。
以上の設定で、指定した日時に自動的にバックアップが行われます。

バックアップ中にAG-DTL2のテープが巻き終わりにになると、「バックアップシュウリョウ」とメッセージが表示され、バックアップ動作は終了します。この場合、バックアップできなかった部分をバックアップするには、カセットを交換し、前ページのマニュアルバックアップの手順でバックアップしてください。

バックアップに要する時間

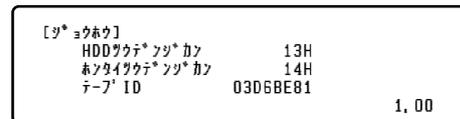
- AG-DTL2の録画レートは標準画質モードで60コマ/秒ですので、本機で録画間隔1/60秒で録画した画像をバックアップするには録画時間とほぼ同じ時間を要します。目安として、1/30秒で録画した場合は録画時間のほぼ半分、1/10秒で録画した場合は録画時間のほぼ6分の1の時間を要します。
- ただし、画質L0で録画した場合は、他の画質の場合に比べてバックアップには2倍の時間を要します。
- さらに、AG-DTL2が高画質モードに設定されている場合は、標準画質モードの場合に比べて2倍の時間を要します。(録画画質L0でAG-DTL2が高画質モードの場合は、L0以外の録画画質でAG-DTL2が標準画質モードの場合に比べて、4倍の時間を要します。)
- 録画中にバックアップする場合にハードディスクのアクセスが追いつかない時は、AG-DTL2に送る画像が一時的に静止画になり、その分よけいに時間を要します。

VTRにダビングされる範囲

本機は、前回のバックアップでハードディスク上のどこまでの画像データをVTRにダビングしたかを記憶しています。マニュアルバックアップで「ヒョウジュン」を選択した場合と、スケジュールバックアップの場合は、その前回のバックアップ以後に録画した画像だけをVTRにダビングします。ただし、ハイブリッド検索モードで本機とVTRとで同時録画をした期間の画像は、VTRにも録画されているとみなして、ダビングの対象となりません。

テープIDの確認

メニューボタンを押すと表示されるメニューP1の一番下の行に、カセットに対して発行されたIDが表示されます。このIDはマニュアルバックアップでもスケジュールバックアップでも発行されます。(ただし、マニュアルバックアップで「ニチジロシテイシテ...」を実行した場合は発行されません。)この8桁の番号は検索する際に便利ですので、カセットを取り出した時にラベルに書いておかれることをおすすめします。



元の画面に戻るにはもう一度メニューボタンを押します。

時計を合わせる

内蔵の時計はこまめに修正してください。時計を合わせるには30秒以内のくりいを直す方法と、日付と時刻を入力する方法との2とおりがあります。

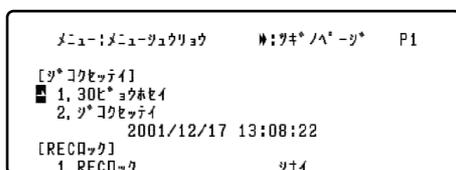
30秒以内のくりいを直す

時計のくりいが30秒以内であることを確認してください。30秒以上のくりいがあるときは下の方法ではなく、右の方法で時計を合わせてください。

1 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。

2 メニューボタンを押します。

モニターテレビにメニュー画面「P1」が表示されます。

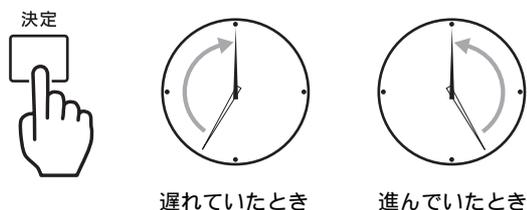


「30秒以内のくりい」の行の左に  があります。

時計合せをやめるには再度メニューボタンを押します。

3 0秒の時報に合わせて決定ボタンを押します。

その瞬間に時計の「秒」が修正されます。



4 メニューボタンを押します。

元の画面に戻ります。

進んでいた時計を戻すと

進んでいた時計を戻すと、同時刻の画像が2つ記録されてしまうことがあります。そのだぶった時刻の画像を検索しようとする、正しく検索できないことがあります。

電池の寿命について

この装置には内蔵時計を動かすための電池が入っています。この電池の寿命は通常の通電使用状態で9年です。電池が切れると電源投入のたびに異常な時刻が表示されます。電池の交換はお客様にはできませんので、当社のサービス部門にご用命ください。

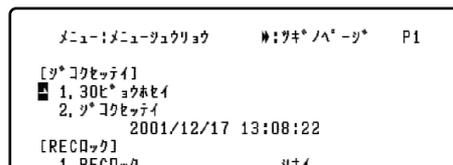
日付と時刻を入力する

スケジュール動作中はこの方法による時計合わせはできません。

1 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。

2 メニューボタンを押します。

モニターテレビにメニュー画面「P1」が表示されます。



元の画面に戻るにはもう一度メニューボタンを押します。

3 ボタンを1回押します。

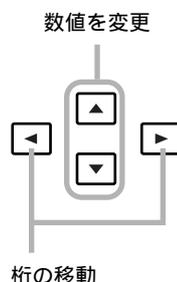
 が「ジコクセッテイ」の行に移動します。

4  ボタンを押します。日付けと時刻の行の、年の桁の表示が反転します。

表示が反転します。

5  ボタン、 ボタンで、修正する桁に反転表示を移動し、

 ボタン、 ボタンで数値を変更します。



時計合せをやめるには再度メニューボタンを押します。

6 日付けと時刻の行のどこかが反転している時に時報に合わせて決定ボタンを押します。

その瞬間に時計が修正されます。



7 メニューボタンを押します。

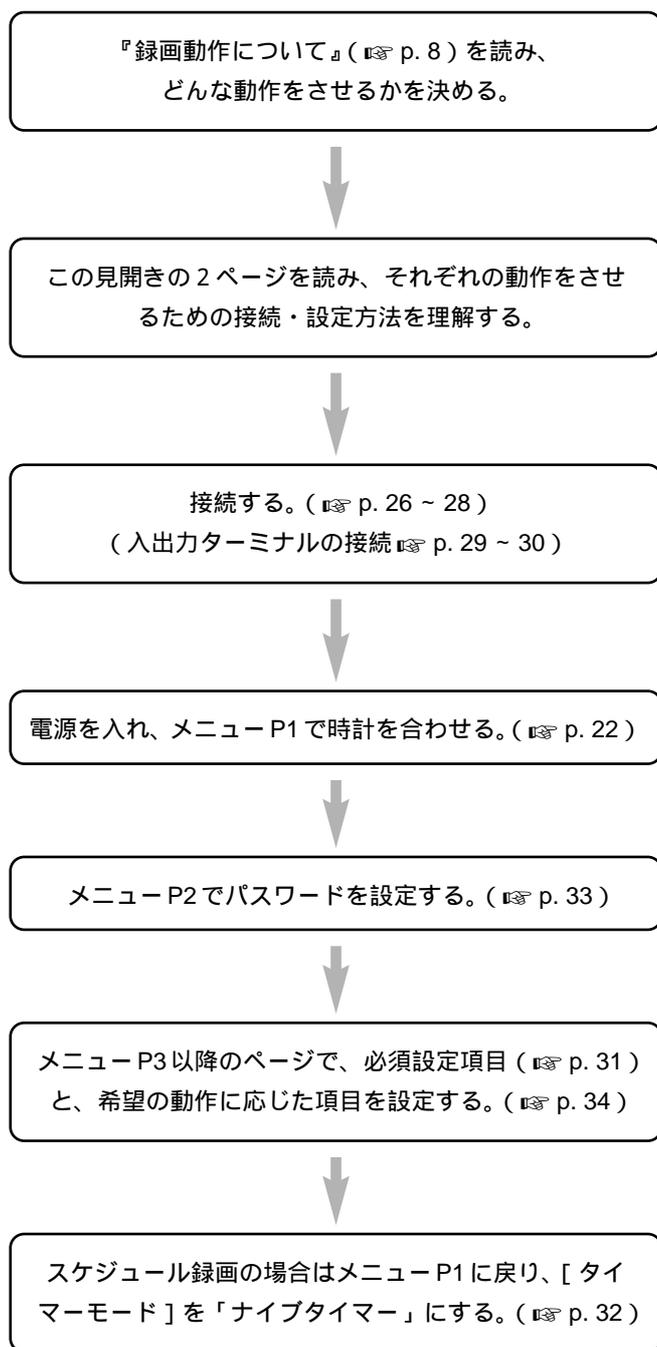
元の画面に戻ります。

接続・設定編

接続・設定のあらまし	24
基本的な接続.....	26
AG-DTL2との接続	27
フレームスイッチャーとの接続	28
入力ターミナルの接続	29
出力ターミナルの接続	30
設定メニューについて	31
メニュー P1.....	32
メニュー P2.....	33
メニュー P3.....	34
メニュー P4.....	36
メニュー P5.....	37
メニュー P6.....	38
メニュー P7.....	39
メニュー P8.....	41
メニュー P9.....	43

接続・設定のあらまし

接続・設定のおおまかな手順



アラーム録画 / センサー録画

接続

入力ターミナルの「アラーム入力」端子にアラーム入力信号を接続します。アラームリセット信号でアラーム動作を解除する場合は、「アラームリセット」端子にアラームリセット信号を接続します。

設定

スキップバック動作はセンサー録画、スケジュール録画、外部タイマー動作、ハイブリッド検索モードとは併用できません。

- 1 メニューP3の「ドウサモードセッテイ」で通常時の録画動作を設定します。
- 2 メニューP3の「アラームロクガモード」の「モード」で「アラーム」または「センサー」、「アラーム / センサー」を選択し、さらに、アラーム時の録画動作を設定します。
- 3 メニューP4の「アラームニューリョクキョクセイ」でアラーム入力信号の極性を設定します。
- 4 アラームリセット信号でアラーム動作を解除する場合は、メニューP4の「アラームリセットキョクセイ」でアラームリセット信号の極性を設定します。

スケジュール録画

設定

スケジュール録画の動作モード（スタンドアロン / ハイブリッドケンサク）の設定は、メニューP7で行います。それぞれのモードでの通常時、アラーム時の録画動作の設定は下表のようにメニューP3またはP6で行います。

モード	通常時	アラーム時
スタンドアロン	メニューP6	メニューP3
ハイブリッド検索	メニューP3	メニューP3

- 1 メニューP3の「ドウサモードセッテイ」と「アラームロクガモード」で録画動作を設定します。
- 2 メニューP6でスタンドアロンモードの通常時の録画動作を設定します。
- 3 メニューP7で曜日と時間帯、動作モードを設定します。
- 4 メニューP1の「タイマーモード」を「ナイブタイマー」に設定します。

ハードディスクモード

設定

メニュー P8 の「ハードディスク」で上書きモード / 上書き禁止モード / 録画禁止モードから選択します。

出荷時は上書きモードに設定されています。

外部タイマーによる制御

接続

本機の電源プラグを外部のプログラムタイマーの電源出力に差し込みます。

設定

メニュー P1 の「タイマーモード」を「ガイブタイマー」に設定します。

録画入力端子による録画開始

接続

入力ターミナルの「録画入力」端子に録画開始トリガ信号を接続します。

設定

メニュー P4 の「ロクガニューリョクキョクセイ」でトリガ信号の極性を設定します。

AG-DTL2 単体をコントロール

接続

『AG-DTL2 との接続』を参照してください。(p. 27)

設定

メニュー P3 の「ドウサモードセッテイ」の「ドウサモード」を「スタンドアローン」に設定します。

AG-DTL2 との同時録画

接続

『AG-DTL2 との接続』を参照してください。(p. 27)

設定

メニュー P3 の「ドウサモードセッテイ」の「ドウサモード」を「ハイブリッドケンサク」に設定します。

AG-DTL2 へのバックアップ

接続

『AG-DTL2 との接続』を参照してください。(p. 27)

設定

メニュー P3 の「ドウサモードセッテイ」の「ドウサモード」を「ハイブリッドバックアップ」に設定します。

指定時刻に自動的にバックアップさせる場合

- 1 メニュー P7 で、バックアップを実行する曜日と時刻を設定し、「ドウサモード」を「VTR バックアップ」に設定します。
- 2 メニュー P1 で「ロクガタイマー」を「ナイブタイマー」に設定します。

「ロクガタイマー」を「ナイブタイマー」に設定すると、メニュー P7 の「ドウサモード」設定がメニュー P3 の「ドウサモードセッテイ」より優先されます。

その他の機能の接続と設定

時刻合せ入力信号による時刻校正

入力ターミナルの「時刻合せ入力」端子に時刻合せ信号を接続し、メニュー P4 の「ジコクアワセモード」と「ジコクアワセキョクセイ」を設定します。

ハードディスクフルの通知

出力ターミナルの「HDD フル出力」端子に受信側の機器を接続します。メニュー P4 の「HDD フルシュツリョクキョクセイ」と、メニュー P8 の「ケイコクザンリョウ」を設定します。

カメラ切り替え信号の出力

出力ターミナルの「カメラ切替出力」端子と、フレームスイッチャーのカメラ切替入力端子を接続し、メニュー P4 の「カメラキリカエキョクセイ」を設定します。

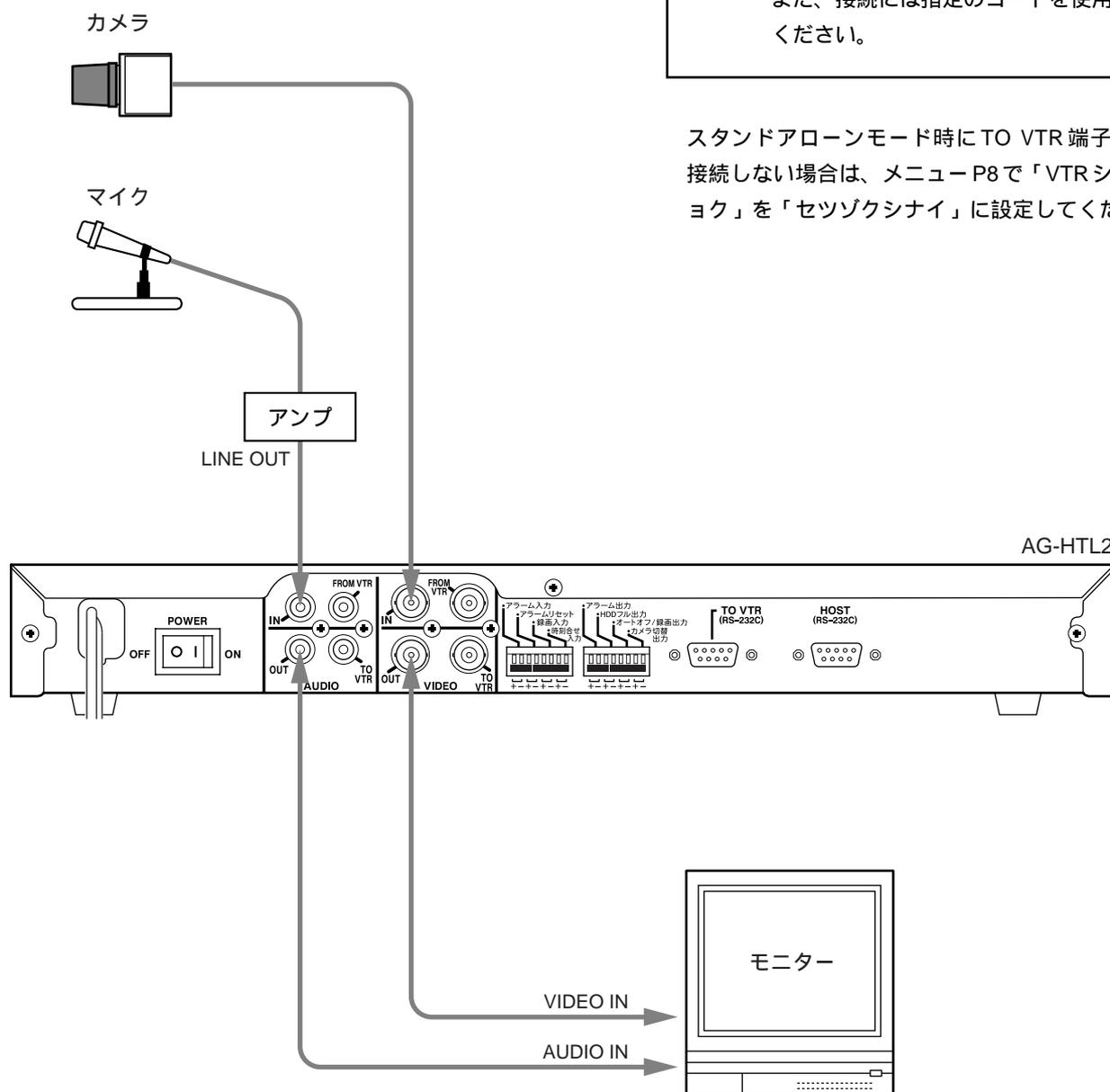
基本的な接続

⚠ 注意



他の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書にしたがって接続してください。また、接続には指定のコードを使用してください。

スタンドアロンモード時に TO VTR 端子に何も接続しない場合は、メニュー P8 で「VTR シュツリョク」を「セツゾクシナイ」に設定してください。



AG-DTL2 との接続

AG-DTL2 との接続に際しては、事前に AG-DTL2 の取扱説明書をよくお読みください。

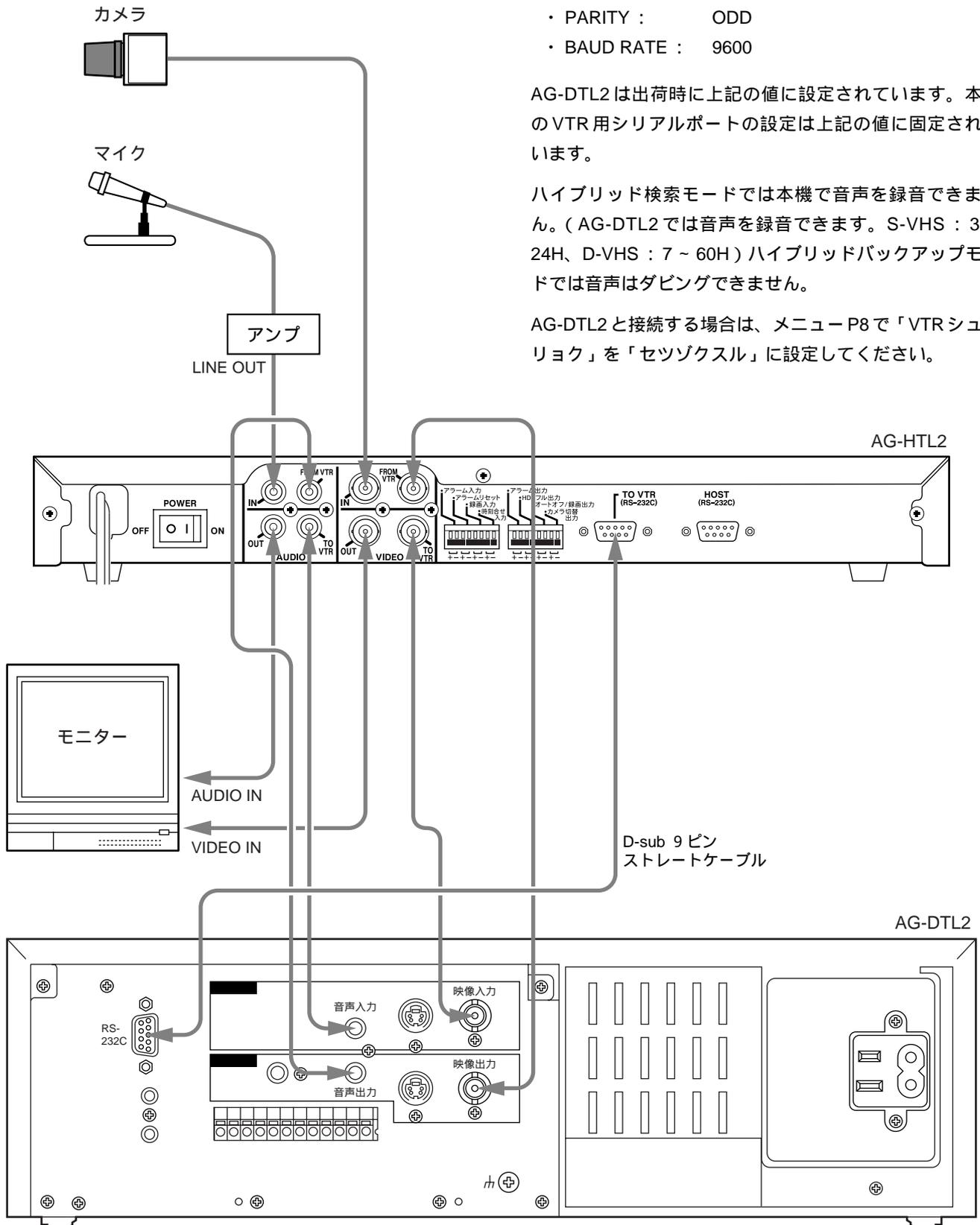
AG-DTL2 と組み合わせて使用する場合は、AG-DTL2 側で RS-232C パラメータをつぎのように設定することが必要です。設定方法については AG-DTL2 の取扱説明書を参照してください。

- ・ BIT LENGTH : 7 bit
- ・ STOP BIT : STOP-1
- ・ PARITY : ODD
- ・ BAUD RATE : 9600

AG-DTL2 は出荷時に上記の値に設定されています。本機の VTR 用シリアルポートの設定は上記の値に固定されています。

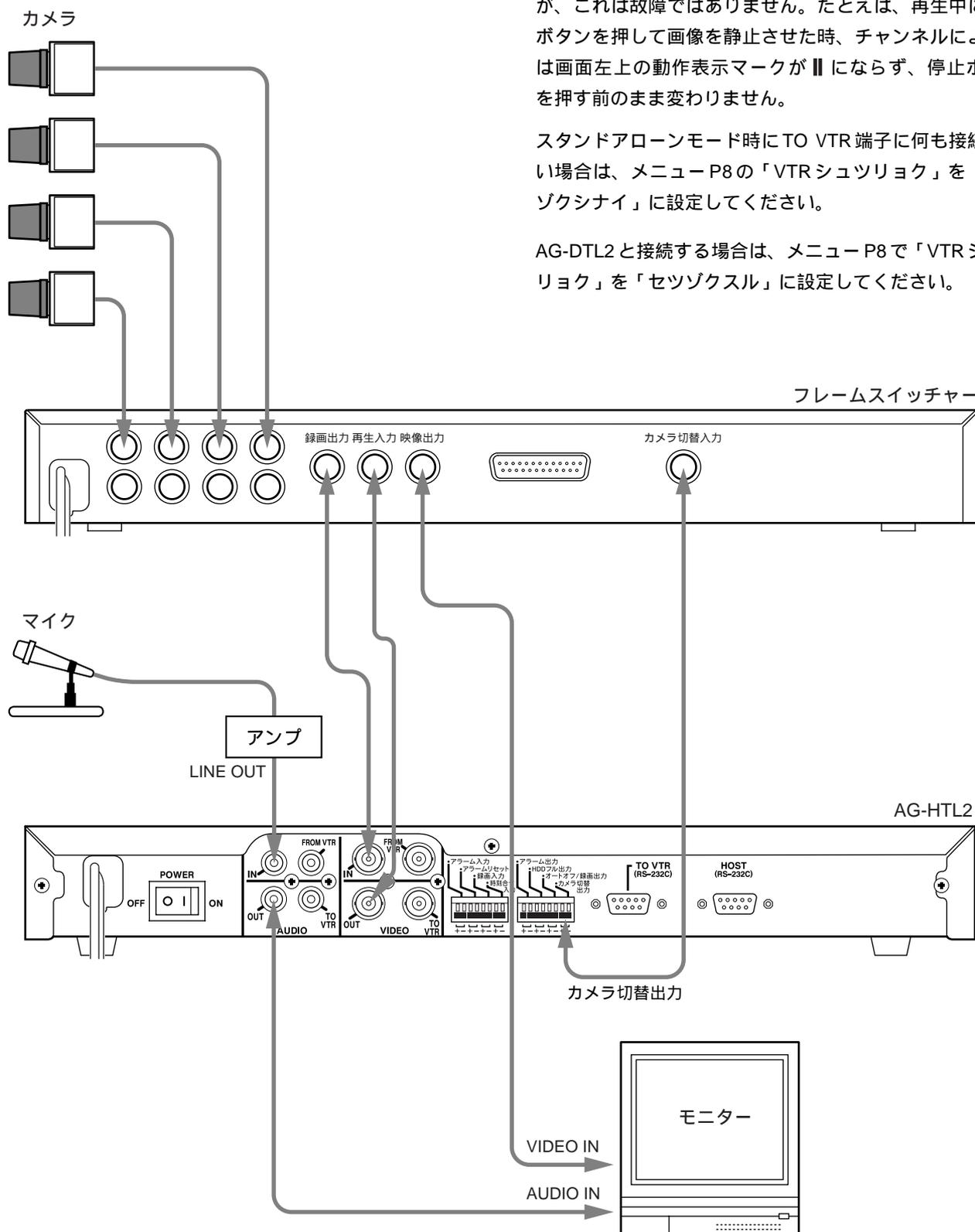
ハイブリッド検索モードでは本機で音声を録音できません。(AG-DTL2 では音声を録音できます。S-VHS : 3 ~ 24H、D-VHS : 7 ~ 60H) ハイブリッドバックアップモードでは音声はダビングできません。

AG-DTL2 と接続する場合は、メニュー P8 で「VTR シュツリョク」を「セツゾクスル」に設定してください。



フレームスイッチャーとの接続

下図はフレームスイッチャーとの典型的な接続例です。フレームスイッチャーの取扱説明書をよく読み、説明書にしたがって接続してください。



組み合わせるフレームスイッチャーによっては本機またはフレームスイッチャーの一部の機能が制限されることがあります。詳細についてはお問い合わせください。(当社で接続テストを行っていないフレームスイッチャーについてはお答えできないことがありますので、ご了承ください。)

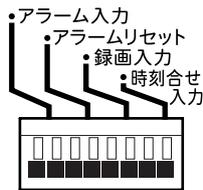
フレームスイッチャーと組み合わせた場合、本機の動作状態とモニター画面上の状態とがくい違ふことがあります。これは故障ではありません。たとえば、再生中に停止ボタンを押して画像を静止させた時、チャンネルによっては画面左上の動作表示マークが **||** にならず、停止ボタンを押す前そのまま変わりません。

スタンドアロンモード時に TO VTR 端子に何も接続しない場合は、メニュー P8 の「VTR シュツリョク」を「セツゾクシナイ」に設定してください。

AG-DTL2 と接続する場合は、メニュー P8 で「VTR シュツリョク」を「セツゾクスル」に設定してください。

入力ターミナルの接続

入力ターミナルの機能



入力ターミナルにはつぎの機能があります。どの端子についても信号の極性を選択することができます。(設定 p. 36)

《アラーム入力》

録画中に信号が入力されるとアラーム録画動作になります。(本機の外部アラーム入力ランプが点灯します。)

《アラームリセット》

アラーム録画動作中に信号が入力されるとアラーム録画動作を解除します。

《録画入力》

録画停止時に信号が入力されると録画を始めます。(電源投入時に信号の極性が開始条件をすでに満たしていても録画は開始しません。)信号の極性が元に戻っても録画は停止しません。停止ボタンで録画が停止します。

《時刻合せ入力》

外部スイッチにより本機の内蔵時計を合わせます。15分以内のくいを補正するか、または、指定の正時に合わせるかを設定できます。(ただし、スケジュール動作中はこの入力は無視されます。)

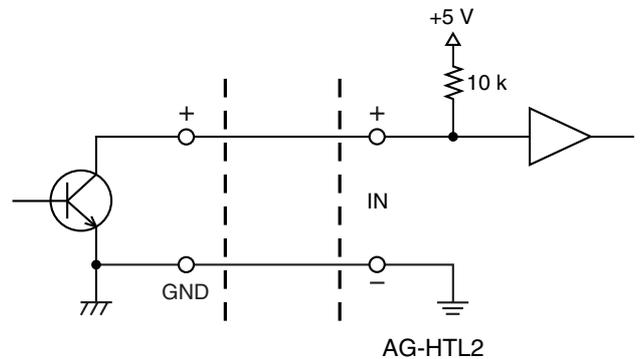
15分補正のしかた

時計の分の位が45～14の間は00分00秒に合わせます。

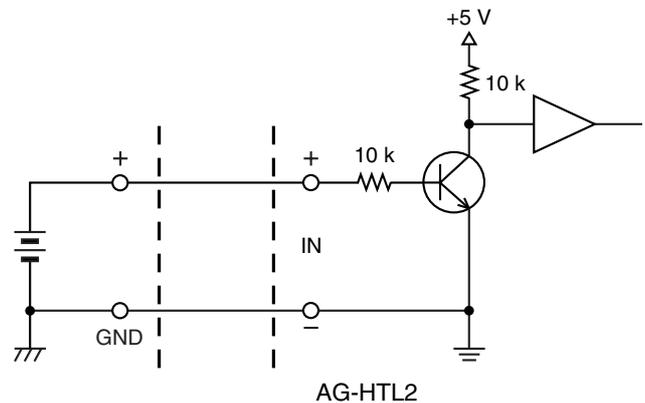
(遅れた場合)	11:44:59	変わりません。
	11:45:00	12:00:00
(進んだ場合)	12:14:59	12:00:00
	12:15:00	変わりません。

入力回路

アラーム入力、録画入力、時刻合せ入力

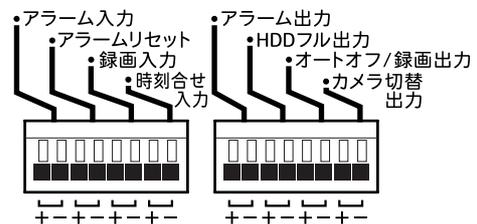


アラームリセット



入力電圧：4.0～5.0V

入出力ターミナルの仕様



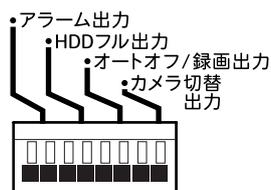
使用可能電線： 単線 0.32～0.65 (AWG28～22)
 撚線 0.08～0.32 mm² (AWG28～22)

電線被覆剥き長さ：9～10mm

(撚線は剥きしろ部を軽く撚ってください。)

出力ターミナルの接続

出力ターミナルの機能



出力ターミナルにはつぎの機能があります。どの端子についても信号の極性を選択することができます。(設定 p. 36)

《アラーム出力》

アラーム録画動作になると出力されます。アラーム録画動作中のみ出力するか、またはアラーム録画動作解除後に何らかのボタン操作がされるまで出力するか、を選択できます。

《HDDフル出力》

ハードディスクモードが上書き禁止モードの場合に、ハードディスクの残量が指定値になると出力されます。(指定残量の設定はメニュー P8) この出力は、ハードディスクをフォーマットするか、ハードディスクモードを変更するとリセットされます。

《オートオフ/録画出力》

「ケイコク」を選択すると、録画にかかわるエラーが発生した時(画面右上に「 × 」が表示された時)に出力されます。(対処方法については当社のサービス部門にご相談ください。)

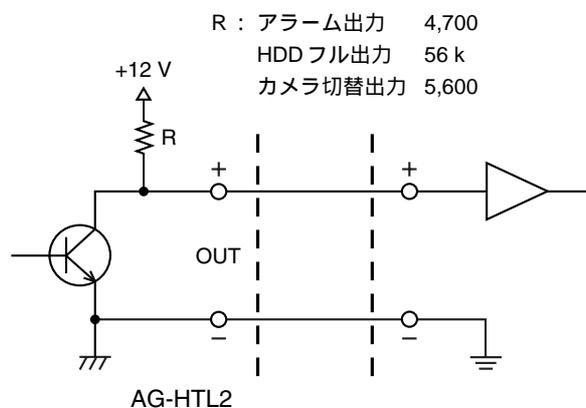
「録画出力」を選択すると、録画中(録画待機中を含む)に出力されます。

《カメラ切替出力》

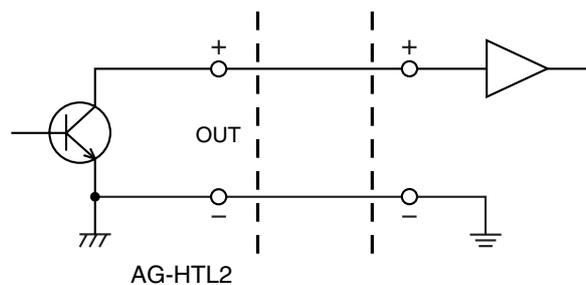
録画中に、録画タイミングに同期した 15 ms のカメラ切替え信号を出力します。(ただし、録画間隔が 1/60 秒以外の場合のみ)

出力回路

アラーム出力、HDDフル出力、カメラ切替出力



オートオフ/録画出力



設定メニューについて

設定方法

- 1 電源スイッチのON側を押し、電源を入れます。
- 2 コントロールスイッチをHTL2に切り替えます。
- 3 メニューボタンを押します。
モニターテレビにメニュー画面「P1」が表示されます。
- 4 早送り再生ボタンを押して、メニュー画面「P2」を表示させます。
- 5 パスワードを入力します。
ボタン、ボタンで数値を変更し、◀ボタン、▶ボタンで反転表示を移動し、決定ボタンを押します。

出荷時のパスワードは「****」に設定されています。そのままあらためて設定しなければ、パスワードを入力せずに早送り再生ボタンでメニューP3に進むことができます。
- 6 早送り再生ボタンまたは、早戻し再生ボタンを押して、設定するページを表示させます。
設定できる項目が反転表示されます。
- 7 ボタン、ボタン、◀ボタン、▶ボタンで、変更する項目に反転表示部分を移動させます。

設定の変更をやめるにはメニューボタンを押します。
- 8 ◀ボタン、▶ボタンを押して、設定を変更します。
(設定項目によってはボタン、ボタンを使います。)
- 9 設定項目によっては決定ボタンを押して確定します。
- 10 メニューボタンを押します。
通常の画面に戻ります。

メニュー一覧

下線のあるものは必須設定項目です。

P1

ジコクセッテイ

RECロック
HTL2タイマーモード
ジョウホウ(通電時間などを表示)

P2

パスワードニューリョク

出荷時のパスワード「****」を変更した場合、パスワードを入力しないと以下のページには進めません。また、録画中、再生中は、以下のページで設定を変更することはできません。

P3

HTL2 ドウサモードセッテイ (通常時の録画動作)
HTL2アラームロックガモード (アラーム時の録画動作)

P4

ニューリョクタンシセッテイ
シュツリョクタンシセッテイ

P5

HOSTツウシンセッテイ (PC接続時のポーレート)
ネットワークセッテイ (LANカード追加時のみ)

P6

ナイブタイマーロックガ ロックガモードセッテイ

P7

ナイブタイマーロックガ プログラムセッテイ

P8

ソノタ (再生時の画面の文字情報表示)
ハードディスク

P9

VTRセッテイ

メニューP1

メニュー:メニュー-サブメニュー	※:ツキ*ノハ* -ツ*	P1
[ツ*コクセツテイ]		
■ 1, 30ビョウホセイ		
2, ツ*コクセツテイ		
	2001/12/17 13:08:22	
[RECロック]		
1, RECロック		ツナイ
[HTL2 タイマーモード*]		
1, ロクガ*タイマー		OFF
[ツ*ジョウホウ]		
HDDツウデンジカン		13H
ホントイツウデンジカン		14H
テープ ID		03D6BE81
		1.00

「ロクガタイマー」で「ナイブタイマー」を選択すると、メニューP2以降の設定を変更できなくなります。また、このページでの時計合せもできなくなり（30秒補正は可能）、時刻合せ入力信号も無視されます。スケジュール録画の設定をするには、まず時計を合わせ、メニューP3以降の項目を設定してからこのページで「ナイブタイマー」を選択してください。

「ロクガタイマー」で「ガイブタイマー」を選択する場合は、メニューP3 [HTL2 ドウサモードセツテイ] の「1. ドウサモード」は「スタンドアローン」または「ハイブリッドケンサク」に設定してください。「ハイブリッドバックアップ」には設定しないでください。

[ジコクセツテイ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
30ビョウホセイ	内蔵時計の30秒以内のくいを補正します。この行の左端に <input type="checkbox"/> がある時に0秒の時報に合わせて 決定ボタン を押します。			決定ボタン
ジコクセツテイ	日付と時刻を入力して内蔵時計を合わせます。日時の行のどこかが反転している時に 決定ボタン を押すと、その瞬間に時計が修正されます。	◀ / ▶	/	決定ボタン

[RECロック] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
RECロック	スル：録画停止の操作を禁止します。シナイ：禁止を解除します。（禁止しても録画停止操作以外の操作は可能です。）		◀ / ▶	スル / シナイ変更時

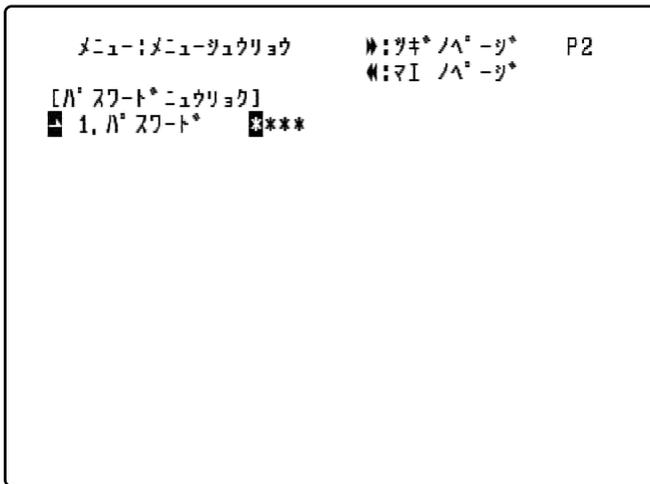
[タイマーモード] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
ロクガタイマー	OFF：タイマー動作をしない。 ナイブタイマー：スケジュール録画をする。 ガイブタイマー：外部タイマーで録画を制御する。		◀ / ▶	設定変更時

____は出荷時設定です。

[ジョウホウ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
ジョウホウ	HDDツウデンジカン：HDDの総通電時間を表示します。 ホントイツウデンジカン：本体の総通電時間を表示します。 テープID：AG-DTL2で現在録画中のテープ、または最後に録画したテープのIDを表示します。			



出荷時のパスワードは「****」に設定されています。そのままかまわなければパスワードを入力せずに早送り再生ボタンでメニュー P3 に進むことができます。

パスワードを設定、変更する前にまずどんな番号をパスワードにするかを決め、メモしておいてください。

[パスワードリョク] 画面

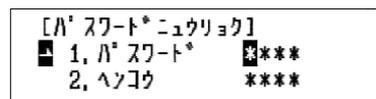
項目	機能内容	行内移動	設定変更	確定
パスワード	4ケタのパスワードを入力します。 出荷時のパスワード「****」を変更した場合、パスワードを入力しないと P3 以降のページに進めません。	◀ / ▶	/	決定ボタン
ヘンコウ	パスワードを変更します。 手順については下記をお読みください。	◀ / ▶	/	決定ボタン

パスワードの設定のしかた

- ▶ ボタンを押します。
「****」の最初の桁が反転します。
- ボタン、ボタンで数値を変更し、◀ボタン、▶ボタンで反転表示を移動します。
- 決定ボタンを押して確定します。
以後はこのパスワードを入力しないとメニュー P3 以降に進むことはできません。

パスワードの変更のしかた

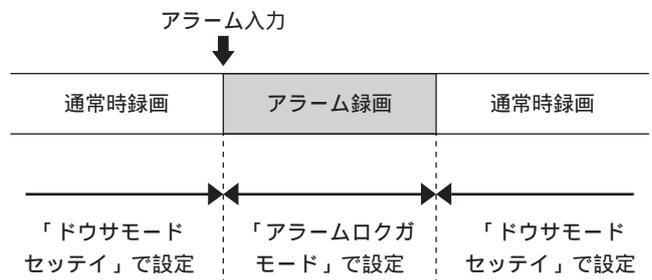
左の手順で「****」以外のパスワードを設定すると、以後は「ヘンコウ」の行が表示されます。



- 「1. パスワード」の行で現在のパスワードを入力し、決定ボタンを押します。
- ボタンで「2. ヘンコウ」の行に を移動し、▶ ボタンを押します。「****」の最初の桁が反転します。
- ボタン、ボタンで数値を変更し、◀ボタン、▶ボタンで反転表示を移動します。
- 決定ボタンを押して確定します。
以後はこのパスワードを入力しないとメニュー P3 以降に進むことはできません。

メニュー:メニューチュウリョウ	※:ツキ*ノハ* -ツ* P3
	※:マI ノハ* -ツ*
[HTL2 ト*ウサモード*セッテイ]	スタート*アロン
■ 1, ト*ウサモード*	L2
2, カ*ツツ	ON
3, オンセイ	1/30ヒ*ヨウ
4, ロクカ*カンカク	OFF
5, スキップ*ハ*ック	
[HTL2 アラームロクカ*モード*]	
1, モート*	OFF
2, カ*ツツ	L1
3, オンセイ	OFF
4, ロクカ*カンカク	1/60ヒ*ヨウ
5, ロクカ*ツ*カン	アラームカイツ*ヨマテ*

「ドウサモードセッテイ」で通常時の録画動作を、「アラームロクガモード」でアラーム時の録画動作を設定します。(下図参照)



[ドウサモードセッテイ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
ドウサモード	スタンダアロン: 本機とAG-DTL2とを個別に制御する ハイブリッドケンサク: 本機とAG-DTL2とで同時に録画する ハイブリッドバックアップ: 本機からAG-DTL2にダビングする		◀ / ▶	設定変更時
ガシツ	画質。画質の高い順にL0, L1, L2, L3, S1, S2, S3から選択できます。 L0を選択すると録画間隔を1/60秒に設定できません。		◀ / ▶	設定変更時
オンセイ	OFF: 音声を録音しない。 ON: 音声を録音する。ハイブリッド検索モードでは録音できません。		◀ / ▶	設定変更時
ロクガカンカク	録画間隔。スタンダアロン時のみ有効です。1/60, 1/30, 1/15, 1/10, 1/5, 1/3, 1/2, 1, 2, 3, 5, 10, 15, 30, 60(秒)から選択できます。 ロクガシナイ: 通常時は録画せず、アラーム時のみ録画します。		◀ / ▶	設定変更時
スキップバック	ハイブリッド検索モードでは設定できません。 OFF: スキップバック動作させない。 ON: スキップバック動作させる。		◀ / ▶	設定変更時

___は出荷時設定です。

ハイブリッド検索モードでは音声は録音できません。

ハイブリッド検索モードでの録画間隔はアラーム時も通常時もAG-DTL2側の設定にしたがいます。

通常時: 本機のメニューP9 [VTRセッテイ] で設定してください。FIELD固定となります。ただし、S-VHS: 3H、D-VHS: 7Hで記録時はFRAME固定となります。

アラーム時: AG-DTL2の [ALARM/SENSOR REC] 画面で設定してください。

- ・MODE (OFF、ALARM/SENSOR、ALARM、SENSOR) は、[HTL2アラームロクガモード] の「1. モード」で設定された内容がAG-DTL2に反映されます。
- ・FIELD / FRAME の選択はFIELD固定となります。ただし、S-VHS: 3H、D-VHS: 7Hで記録時は

FRAME固定となります。

- ・DURATION、ALARM1 or ALARM2等の設定が必要です。

万が一、AG-DTL2に故障が発生した場合は、この「ドウサモードセッテイ」での設定にしたがいます。

スケジュール録画時にメニューP7で「モードA~D」を割り付けると、通常時の画質、音声、録画間隔の設定はメニューP6での設定にしたがいます。

スキップバック動作でアラーム入力前の画質、音声の有無、録画間隔の設定はこの「ドウサモードセッテイ」での設定にしたがいます。

メニューP3 (つづき)

スキップバック動作の録画時間は、画質、音声の有無、録画間隔の設定により変わります。画質が高いほど、また、録画間隔が短いほどスキップバック録画時間は短くなります。目安に例として、つぎのようになります。

画質：L1、録画間隔：1/30秒の場合

音声OFFで約2秒、音声ONでも約2秒

画質：L2、録画間隔：1/15秒の場合

音声OFFで約5秒、音声ONでも約5秒

画質：L3、録画間隔：1/10秒の場合

音声OFFで約10秒、音声ONで約9秒

下表のグレーの部分では、録画中にバックアップすると、AG-DTL2に送る画像が一時的に静止することがあります。

AG-DTL2が標準画質モードの場合

録画間隔 (秒)	画質			
	L0	L1	L2	L3
1/60	不可			
1/30				
1/15				
1/10				
1/5				

AG-DTL2が高画質モードの場合

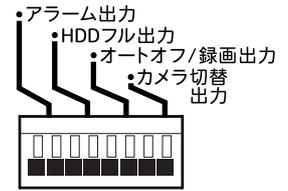
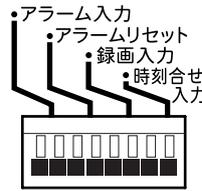
録画間隔 (秒)	画質		
	L0	L1	L2
1/60	不可		
1/30			
1/15			
1/10			
1/5			

[アラームロクガモード]画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
モード	OFF：アラーム入力に関係なく、「ドウサモードセッテイ」で設定された通常の録画動作をする。 アラーム：アラーム録画をする。 センサー：センサー録画をする。 アラーム/センサー：アラーム録画とセンサー録画を併用する。		◀ / ▶	設定変更時
ガシツ	画質。画質の高い順にL0, L1, L2, L3, S1, S2, S3から選択できます。L0を選択すると録画間隔を1/60秒に設定できません。		◀ / ▶	設定変更時
オンセイ	OFF：音声を録音しない。 ON：音声を録音する。ハイブリッド検索モードでは録音できません。		◀ / ▶	設定変更時
ロクガカンカク	録画間隔。スタンドアローン時のみ設定可能です。1/60, 1/30, 1/15, 1/10, 1/5, 1/3, 1/2, 1, 2, 3, 5, 10, 15, 30, 60(秒)から選択できます。		◀ / ▶	設定変更時
ロクガジカン	アラームカイジョマデ：アラーム入力信号が元に戻るまで、またはアラームリセット信号が入力されるまでアラーム録画します。 テイシスルマデ：停止するまで、またはハードディスクがフルになるまでアラーム録画します。 XXビョウ：アラーム録画時間を1～999秒の間で設定できます。		◀ / ▶	設定変更時

___は出荷時設定です。

メニュー：メニュー-サブメニュー	※：ツキノハ-ツ P4
	※：マI ノハ-ツ
[ニューリヨクタンシセツテイ]	
■ 1 . アラームニューリヨクキョクセイ	ローレベル
2 . アラームリセットキョクセイ	ハイレベル
3 . ロクガニューリヨクキョクセイ	ローレベル
4-1. ジコクアワセモード	RESET
4-2. ジコクアワセキョクセイ	ローレベル
[シュツリヨクタンシセツテイ]	
1-1. ケイゾク/アラームロクガ	アラームロクガ
1-2. アラームシュツリヨクキョクセイ	ローレベル
2 . HDDフルシュツリヨクキョクセイ	ローレベル
3-1. ケイコク/ロクガシュツリヨク	ロクガ
3-2. ケイコクキョクセイ	ローレベル
4 . カメラキリカキョクセイ	タッチサガリ



[ニューリヨクタンシセツテイ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
アラームニューリヨクキョクセイ	アラーム入力信号の極性を指定します。 ローレベル / オープン (ハイを含む) から選択します。		◀ / ▶	設定変更時
アラームリセットキョクセイ	アラームリセット信号の極性を指定します。 ハイレベル / オープン (ハイ以外という意味) から選択します。		◀ / ▶	設定変更時
ロクガニューリヨクキョクセイ	録画入力端子への信号の極性を指定します。 ローレベル / オープン (ハイを含む) から選択します。		◀ / ▶	設定変更時
ジコクアワセモード	RESET : 時刻合せ信号入力時に 15分以内のくいを補正します。 00:00 ~ 23:00 : 時刻合せ信号入力時に、選択した正時に合わせます。		◀ / ▶	設定変更時
ジコクアワセキョクセイ	時刻合せ信号の極性を指定します。 ローレベル / オープン (ハイを含む) から選択します。		◀ / ▶	設定変更時

___ は出荷時設定です。

[シュツリヨクタンシセツテイ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
ケイゾク/アラームロクガ	アラーム出力信号が出力される期間を設定します。 アラームロクガ : アラーム録画動作中のみ出力します。 ケイゾク : アラーム録画動作解除後に何らかのボタン操作がされるまで出力します。		◀ / ▶	設定変更時
アラームシュツリヨクキョクセイ	アラーム出力信号の極性を指定します。 ローレベル / オープン (ハイを含む) から選択します。		◀ / ▶	設定変更時
HDDフルシュツリヨクキョクセイ	HDDフル出力信号の極性を指定します。 ローレベル / オープン (ハイを含む) から選択します。		◀ / ▶	設定変更時
ケイコク/ロクガシュツリヨク	「オートオフ/録画出力」端子の機能を選択します。 ロクガシュツリヨク : 録画中 (録画待機中を含む) に出力します。 ケイコク : 内部でエラーが発生した時に出力します。		◀ / ▶	設定変更時
ケイコクキョクセイ	「オートオフ/録画出力」端子からの信号の極性を指定します。 ローレベル / オープン (ハイを含む) から選択します。		◀ / ▶	設定変更時
カメラキリカキョクセイ	フレームスイッチャーへのカメラ切替信号の極性 (エッジ) を指定します。 タッチサガリ / タチアガリから選択します。		◀ / ▶	設定変更時

___ は出荷時設定です。

```

メニュー:メニューチュウリョウ      #:ツキ*ノハ*ーツ*   P5
                                     #:マIノハ*ーツ*
[HOSTツウシンセツテイ]
■ 1,ホ*ーレート                    38400

[ネットワークセツテイ]
1, IPアド*レス                    192,168,000,035
2, サブ*ネットマスク              255,255,255,000
3, デ*フォルトゲ*ートウェイ      000,000,000,000
    
```

[HOST ツウシンセツテイ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
ボーレート	HOST 端子のボーレートを設定します。(TO VTR 端子ではありません。) 38400 / 19200 / 9600 bps から選択できます。		◀ / ▶	電源 再投入時

___ は出荷時設定です。

[ネットワークセツテイ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
IP アドレス	LAN カード追加時の IP アドレスを設定します。	◀ / ▶	/	設定変更時
サブネット マスク	LAN カード追加時のサブネットマスクを設定します。	◀ / ▶	/	設定変更時
デフォルト ゲートウェイ	LAN カード追加時のデフォルトゲートウェイを設定します。	◀ / ▶	/	設定変更時

LAN カードはオプションです。

メニュー:メニュー-リョウ		※:ツキノハ-ツ	P6
		※:マIノハ-ツ	
[ナイブタイマー-ロクガ ロクガモードセッテイ]			
■ 1, モードA	ツ	L2	
2, オンセイ		OFF	
3, ロクガカンカク		1/30ヒョウ	
4, モードB	ツ	L2	
5, オンセイ		OFF	
6, ロクガカンカク		1/30ヒョウ	
7, モードC	ツ	L2	
8, オンセイ		OFF	
9, ロクガカンカク		1/30ヒョウ	
10, モードD	ツ	L2	
11, オンセイ		OFF	
12, ロクガカンカク		1/30ヒョウ	

このページの設定はメニューP1で「ロクガタイマー」を「ナイブタイマー」に設定した場合のみ有効になります。

このページで設定する4種類までの各「録画モード」をつぎのメニューP7で指定日時に割り付けることができます。

このページで設定するのはスタンドアローンモードでスケジュール録画をする場合の、通常時の録画動作です。メニューP7で「モードA～D」を割り付けると、メニューP3「ドウサモードセッテイ」での通常時の画質、音声、録画間隔の設定は無視されます。アラーム時の動作はメニューP3の「アラームロクガモードセッテイ」の設定にしています。

[ナイブタイマー-ロクガ ロクガモードセッテイ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
モードA (B, C, D) ガシツ	画質。画質の高い順にL0, L1, L2 , L3, S1, S2, S3から選択できます。 L0を選択すると録画間隔を1/60秒に設定できません。		◀ / ▶	設定変更時
オンセイ	OFF : 音声を録音しない。 ON : 音声を録音する。		◀ / ▶	設定変更時
ロクガカンカク	録画間隔。1/60, <u>1/30</u> , 1/15, 1/10, 1/5, 1/3, 1/2, 1, 2, 3, 5, 10, 15, 30, 60 (秒) から選択できます。		◀ / ▶	設定変更時

___は出荷時設定です。

メニュー:メニューチュウリョウ		※:ツキノハ-ジ	P7
		※:マイノハ-ジ	
[ナイプタイマー-ロクガプログラムセッテイ]			
	ヨウビ	ジカン	トウサモード
1,	クヰキン	09:00~17:00	モードA
2,	クヰキン	17:00~18:00	VTRバックアップ
3,	ト	09:00~13:00	VTRトウジロクガ
4,	-----	---:---:---	-----
5,	-----	---:---:---	-----
6,	-----	---:---:---	-----
7,	-----	---:---:---	-----
8,	-----	---:---:---	-----

このページの設定はメニューP1で「ロクガタイマー」を「ナイプタイマー」に設定した場合のみ有効になります。

メニューP6で設定した4種類までの各「録画モード」と、AG-DTL2との同時録画動作、AG-DTL2へのバックアップ動作をこのページで指定日時に割り付けます。

「VTRドウジロクガ」の画質はメニューP3での設定にしたがいますが、音声は録音できません。録画間隔はAG-DTL2側の設定（本機のメニューP9[VTRセッテイ]での設定）にしたがいます。

本機はバックアップ動作中も録画することができますので、「VTRバックアップ」と「モードA~D」とは時間帯が重なる設定が可能です。ただし、「VTRバックアップ」と「VTRドウジロクガ」とを重ねることはできません。

[ナイプタイマー-ロクガプログラムセッテイ]画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
ヨウビ	ゲツ、カ、スイ、モク、キン、ド、ニチ：それぞれの曜日に動作します。 ゲツ~キン：月曜日から金曜日に動作します。 ドニチ：土曜日と日曜日に動作します。 マイニチ：毎日同じ設定にするとときに選択します。 -----：動作しません。	◀ / ▶	/	設定変更時
ジカン	動作させる時間帯を指定します。開始と終了を同じ時刻に設定すると、その日のその時刻から翌日の同時刻まで24時間動作します。	◀ / ▶	/	設定変更時
ドウサモード	モードA、モードB、モードC、モードD：メニューP6の各モードの設定で、本機だけで録画します。 VTRドウジロクガ：指定時刻にAG-DTL2との同時録画動作をします。 VTRバックアップ：指定時刻にAG-DTL2へのバックアップ動作をします。	◀ / ▶	/	設定変更時

スケジュール録画の開始

スケジュール録画を開始するには録画ボタンを押す必要はありません。メニューP1で「ナイプタイマー」を選択すると自動的にスケジュール動作に入ります。もし現在が録画することに設定した時刻の場合は、すぐに録画が始まります。スケジュール録画中に手動で録画を停止した場合は、あらためてメニューP1で「ナイプタイマー」を選択し直すことによりスケジュール録画に戻すことができます。

メニューP7 (つづき)

スケジュール録画の設定についての注意

メニュー:メニュー-スケジュール		※:ツキノヘ-ツキ	P7
		※:マIノヘ-ツキ	
[ナイフタイマー-ロクカフ ロカラムヒツイ]			
	ヨクヒ	ツカフ	トウサモト
1.	ケツキ	00:00~00:00	モードA
2.	ケツキ	17:00~19:00	VTRバックアップ
3.	ト	09:00~08:00	VTRトウジロカ
4.	ト	09:00~08:00	モードB
5.	ト	10:00~07:00	モードC
6.	-----	---:---:---	-----
7.	-----	---:---:---	-----
8.	-----	---:---:---	-----

開始時刻と終了時刻が逆転すると

2日にまたがる録画動作をします。たとえば「10:00 ~ 07:00」と設定すると、その日の午前10時から翌日の午前7時まで録画します。

スケジュールを重複させない

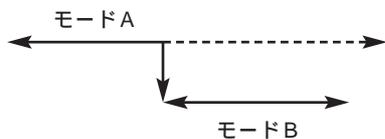
「VTRバックアップ」と「モードA~D」とは時間帯が重なる設定が可能です。が、原則的にこれ以外の組み合わせでスケジュールを重複させないでください。

開始時刻が重複すると

より上の行の設定が優先されます。

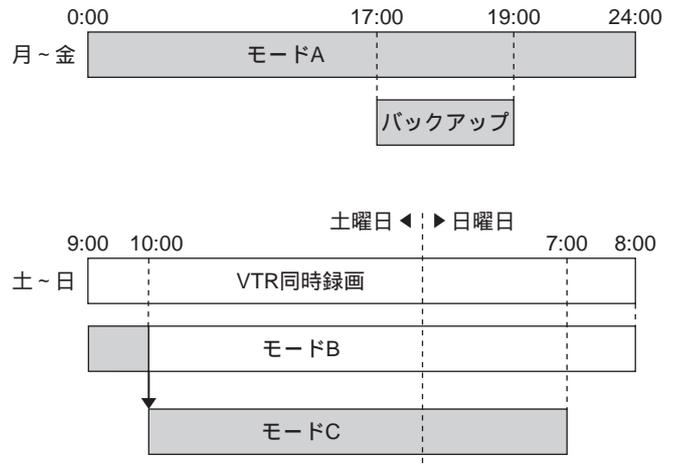


ある動作の終了前に別の動作を割り込ませると割り込んだ方の動作に移ります。



「VTR ドウジロカ」の開始時刻はAG-DTL2側の準備のために、内部的には設定した開始時刻よりも2分早い時刻に設定されます。(実際の録画は設定した開始時刻に始まります。)この2分間に他の動作の開始時刻が割り込んでも受け付けられません。また、開始時刻が重複した場合の優先順位はこの2分早い開始時刻で決まります。「VTR ドウジロカ」と「モードA~D」の開始時刻を同じにすると、「VTR ドウジロカ」が先にスタートしますが、その2分後に「モードA~D」に移行します。みかけ上は「モードA~D」が優先されたようになります。

左の画面の設定例では、下図のような動作になります。グレーの部分が動作する時間帯です。



上の例では、土曜日の午前9時は「VTR ドウジロカ」より「モードB」がみかけ上優先され、さらに10時に「モードC」に移行します。

バックアップ時間の設定

バックアップ時間は余裕をもって設定してください。

- AG-DTL2の録画レートは標準画質モードで60コマ/秒ですので、本機で録画間隔1/60秒で録画した画像をバックアップするには録画時間とほぼ同じ時間を要します。目安として、1/30秒で録画した場合は録画時間のほぼ半分、1/10秒で録画した場合は録画時間のほぼ6分の1の時間を要します。
- ただし、画質L0で録画した場合は、他の画質の場合に比べてバックアップには2倍の時間を要します。
- さらに、AG-DTL2が高画質モードに設定されている場合は、標準画質モードの場合に比べて2倍の時間を要します。(録画画質L0でAG-DTL2が高画質モードの場合は、他の録画画質でAG-DTL2が標準画質モードの場合に比べて、4倍の時間を要します。)
- 録画中にバックアップする場合にハードディスクのアクセスが追いつかない時は、AG-DTL2に送る画像が一時的に静止画になり、その分よけいに時間を要します。
- バックアップ対象のデータのダビングが終了する前に設定したバックアップ終了時刻になると、バックアップは強制的に終了します。バックアップし切れなかったデータは次のバックアップに持ち越されます。ダビングを次回に持ち越さないようにするために、バックアップ終了時刻は余裕をもって設定されることをおすすめします。

メニュー:メニューシュウリョウ	▶:ツキノハ-ツ*	P8
	◀:マIノハ-ツ*	
[ソノタ]		
■ 1 .サイセイ*コクヒョウジ*	ショウキョカノウ	
2 .VTRシュツリョク	セツゾクシナイ	
3 .		
4 .		
5 .		
[ハードディスク]		
1 .ハードディスクモード*	ウワガキ	
2 .ケイコクザンリョウ	2%	
3-1.ハードディスクジョキカモード*	クイック(タンジカン)	
3-2.ハードディスクジョキカ	シナイ	

[ソノタ]画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
サイセイ ジコクヒョウジ	<u>ショウキョカノウ</u> :再生中の画面への文字情報の表示/非表示を決定ボタンで切り替えられるようにします。 <u>ショウキョフカ</u> :再生中の画面に文字情報を常に表示します。		◀ / ▶	設定変更時
VTR シュツリョク	スタンドアローンモード時のみ有効な設定で、TO VTR 端子からの出力をVTRなどに接続するか否かを設定します。 <u>セツゾクシナイ</u> : TO VTR 端子に何も接続しない。 <u>セツゾクスル</u> : TO VTR 端子からの出力をVTRなどに接続する。		◀ / ▶	設定変更時

____は出荷時設定です。

[ハードディスク]画面

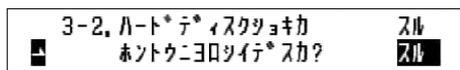
項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
ハードディスク モード	<u>ウワガキ</u> :古い画像から順に上書きして録画を続けます。 <u>ウワガキキンシ</u> :ハードディスクがフルになると録画は止まります。 <u>ロクガキンシ</u> :録画もフォーマットもできません。		◀ / ▶	設定変更時
ケイコク ザンリョウ	ハードディスクモードが上書き禁止モードの場合に、ハードディスクの残量が何%になったらHDDフル信号を出力するかを設定します。 2%、10%、20%から選択できます。		◀ / ▶	設定変更時
ハードディスク ジョキカモード	ハードディスクのフォーマットのしかたを選択します。 <u>クイック(タンジカン)</u> :簡易フォーマットをします。 <u>カンゼン(チョウジカン)</u> :ディスク上のデータを完全に消します。 数時間かかります。途中で止められませんのでご注意ください。		◀ / ▶	設定変更時
ハードディスク ジョキカ	ハードディスクのフォーマットを実行します。 手順については次ページをお読みください。			

____は出荷時設定です。

メニューP8 (つづき)

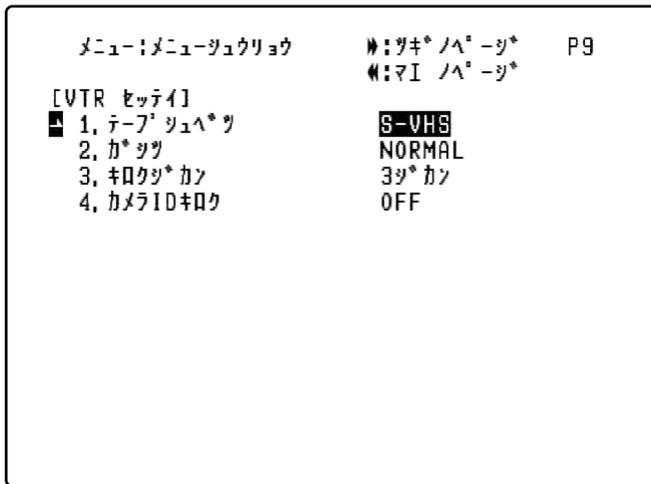
ハードディスクのフォーマットのしかた

- 1 「ハードディスクシヨキカ」の行に  を移動し、
◀ ボタン、または ▶ ボタンを押します。
「シナイ」が「スル」に変わり、下に「ホントウニヨロシイデスカ?」と表示されます。
- 2 ボタンを押して下の行に  を移動し、◀ ボタン、または ▶ ボタンを押します。
「シナイ」が「スル」に変わります。



フォーマットをやめるには  ボタンを押して  を上の行に戻します。

- 3 決定ボタンを押します。
フォーマットが始まります。
フォーマットが完了すると、「ホントウニヨロシイデスカ」の行が消えて、  が上の行に戻ります。



このページでは本機とAG-DTL2とを接続した場合の、AG-DTL2に対する設定をします。各設定項目についての詳細はAG-DTL2に付属の取扱説明書をお読みください。

[VTR セッテイ] 画面

項目	機能内容	行内移動	設定変更	変更確定
テープシュベツ	S-VHS : S-VHSテープ (120分または160分) を選択します。 D-VHS : D-VHSテープ (420分) を選択します。		◀ / ▶	設定変更時
ガシツ	NORMAL : 標準画質で録画します。 HIGH : 高画質で録画します。		◀ / ▶	設定変更時
キロクジカン	S-VHSの場合 : 3H/9H/12H/18H/24H/48H/72H/96H/120H/180H/240H/ 360H/480H/960H から選択します。 D-VHSの場合 : 7H/21H/35H/48H/60H/72H/84H/96H/120H/180H/240H/ 360H/480H/960H から選択します。		◀ / ▶	設定変更時
カメラIDキロク	テープにカメラIDを記録するか否かを設定します。フレームスイッチャーを接続して録画するときの設定です。 OFF : テープにカメラIDを記録しません。 ON : テープにカメラIDを記録します。		◀ / ▶	設定変更時

___は出荷時設定です。

メニュー P3で「ドウサモード」を「ハイブリッドバックアップ」に設定した場合のAG-DTL2へのバックアップは「3. キロクジカン」に関係なくS-VHS : 3H、D-VHS : 7Hでバックアップを行います。また、「ドウサモード」を「ハイブリッドケンサク」に設定した場合のAG-DTL2との同時録画は、「3. キロクジカン」にしたがいます。

故障かなと思ったら

下記のような症状が発生したときは、修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

このようなとき	つぎの点をお調べください
録画ボタンを押しても録画が始まらない。	・ 上書き禁止モードでハードディスクがフルになっていませんか？ 引き続き上書き禁止モードで録画するにはハードディスクを再フォーマットしてください。 ・ 録画禁止モードになっていませんか？ 他のモードに設定してください。
録画を停止できない。	RECロックが「スル」に設定されていませんか？ 「シナイ」に設定してください。
モニター画面に画像が出ない。	カメラ、モニターとの接続を確認してください。
検索・再生できない。	電源を入れ直してみてください。
画面右上に「 x 」が表示された。	電源を入れ直してみてください。それでも録画を始めると「 x 」が表示されるようなら、ハードディスクを再フォーマットしてみてください。ただし、フォーマットすると、それまでに録画した画像は再生できなくなります。
設定メニューで設定を変更できない。	録画中、再生中ではありませんか？ 録画中、再生中は設定を変更できません。設定を変更するにはいったん録画、再生を停止してください。
電源投入のたびに異常な時刻が表示される。	内蔵の時計用の電池が切れました。電池の交換はお客さまにはできませんので、当社のサービス部門にご用命ください。

上記の処置をしても直らない場合は当社のサービス部門にご相談ください。

フレームスイッチャーと組み合わせたときの注意

フレームスイッチャーによっては本機またはフレームスイッチャーの一部の機能が制限されることがあります。詳細についてはお問い合わせください。(当社で接続テストを行っていないフレームスイッチャーについてはお答えできないことがありますので、ご了承ください。)

フレームスイッチャーと組み合わせた場合、本機の動作状態とモニター画面上の状態とがくい違ふことがあります。これは故障ではありません。たとえば、再生中に停止ボタンを押して画像を静止させた時、チャンネルによっては画面左上の動作表示マークが **||** にならず、停止ボタンを押す前そのまま変わりません。

仕様

映像入力信号 (IN、FROM VTR)	映像信号	NTSC (RS-170A 準拠)	
	入力数	1チャンネル (BNC コネクタ)	
	信号レベル	VBS または VS 1.0 Vp-p	
	入力インピーダンス	75 (終端 ON 時)	
映像出力信号 (OUT、TO VTR)	映像信号	NTSC	
	出力数	1チャンネル (BNC コネクタ)	
	信号レベル	VBS 1.0 Vp-p	
	出力インピーダンス	75 不平衡	
映像データ処理	画像圧縮方式	Motion-JPEG (独自方式)	
	量子化周波数	13.5 MHz	
	量子化ビット数	8 bit	
	画質	L0 画素数 720 × 248	60 KB/フィールド
		L1 画素数 720 × 248	30 KB/フィールド
		L2 画素数 720 × 248	25 KB/フィールド
		L3 画素数 720 × 248	20 KB/フィールド
		S1 画素数 360 × 248	12.5 KB/フィールド
		S2 画素数 360 × 248	10 KB/フィールド
S3 画素数 360 × 248		7.5 KB/フィールド	
録画間隔	1/60, 1/30, 1/15, 1/10, 1/5, 1/3, 1/2, 1, 2, 3, 5, 10, 15, 30, 60 (秒)		
音声入力信号	入力数	1チャンネル (モノラル)	
	信号レベル	- 7.8 dBs (890 mVp-p)	
	最大入力レベル	+ 10 dBs (6.93 Vp-p)	
	入力インピーダンス	47 k 以上	
音声出力信号	出力数	1チャンネル (モノラル)	
	信号レベル	- 7.8 dBs	
	出力インピーダンス	300	
音声データ処理	音声符号化方式	8 bit リニア PCM	
	量子化周波数	16 kHz	
記録媒体	ハードディスク	IDE 3.5 インチ	
	容量	40 GB	
接点入力	入力数	4チャンネル (プラス・マイナス各4本)	
	信号方式	アラーム入力、録画入力、時刻合せ入力: 無電圧メイク接点、+ 5 Vプルアップ (10 k) アラームリセット入力: 電圧入力 (+ 4.0 ~ 5.0 V)	
接点出力	出力数	4チャンネル (プラス・マイナス各4本)	
	信号方式	アラーム出力: コレクタ出力、+ 12 V (4,700 プルアップ)	
		HDD フル出力: コレクタ出力、+ 12 V (56 k プルアップ)	
		オートオフ/録画出力: オープンコレクタ + 24 V DC 100 mA 以下	
カメラ切替出力: コレクタ出力、+ 12 V (5,600 プルアップ)			
外部通信	通信信号	RS-232C	
	通信内容	設定の確認・変更、動作制御	
電源	AC 100 V, 50/60 Hz 共用		
消費電力	21 W		
動作温度・湿度	5 ~ 35 、5 ~ 80%RH (非結露)		
外形寸法	(幅) 36.0 × (高さ) 5.0 × (奥行) 34.8 cm (突起物を除く)		
質量	3.6 kg		

仕様

最大録画時間

アラーム録画動作なし、音声なしの場合 単位：時間

録画間隔 (秒)	画質						
	L0	L1	L2	L3	S1	S2	S3
1/60	不可	5.67	6.83	8.50	13.58	16.83	22.33
1/30	5.67	11.33	13.67	17.00	27.17	33.67	44.67
1/15	11.33	22.67	27.33	34.00	54.33	67.33	89.33
1/10	17.00	34.00	41.00	51.00	81.50	101.00	134.00
1/5	34.00	68.00	82.00	102.00	163.00	202.00	268.00
1/3	56.67	113.33	136.67	170.00	271.67	336.67	446.67
1/2	85.00	170.00	205.00	255.00	407.50	505.00	670.00
1	170	340	410	510	815	1010	1340
2	340	680	820	1020	1630	2020	2680
3	510	1020	1230	1530	2445	3030	4020
5	850	1700	2050	2550	4075	5050	6700
10	1700	3400	4100	5100	8150	10100	13400
15	2550	5100	6150	7650	12225	15150	20100
30	5100	10200	12300	15300	24450	30300	40200
60	10200	20400	24600	30600	48900	60600	80400

アラーム録画動作なし、音声ありの場合 単位：時間

録画間隔 (秒)	画質						
	L0	L1	L2	L3	S1	S2	S3
1/60	不可	5.58	6.67	8.33	13.00	16.08	20.92
1/30	5.67	11.17	13.17	16.33	25.50	31.33	40.50
1/15	11.33	21.67	26.00	32.00	49.00	59.67	76.33
1/10	16.50	33.50	38.00	47.00	71.00	97.50	108.00
1/5	32.00	61.00	72.00	87.00	128.00	192.00	185.00
1/3	51.67	96.67	111.67	133.33	188.33	218.33	258.33
1/2	75.00	135.00	155.00	182.50	247.50	280.00	325.00
1	135	220	250	285	355	390	430
2	220	330	360	390	460	480	520
3	285	390	420	450	510	525	555
5	350	450	475	500	550	575	575
10	450	500	550	550	600	600	600
15	450	525	525	525	600	600	600
30	450	600	600	600	600	600	600
60	600	600	600	600	600	600	600

この表は目安としてご利用ください。アラーム録画動作をした場合の録画時間は表の値より短くなります。また、録画する画像によっても短くなることがあります。

アフターサービス

アフターサービスについて

1. **保証書...内容のご確認と保存のお願い**
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
2. **保証期間...お買い上げ日から1年間**
取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「**無料修理**」させていただきます。保証の適用範囲は、ご購入頂いた本機にのみとし、記録された映像データについては保証しかねます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
 - (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
3. **補修用性能部品の最低保有期間**
本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
4. **修理を依頼される前に**
この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かなと思ったら」の項を点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。
5. **ご転居・ハードディスクの交換等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。**

定期交換のおすすめ

本機には、映像信号を記録するためのハードディスクが内蔵されています。ハードディスクは、消耗部品です。メニューP1内のHDDツウデンジカンを参照の上、*約20,000時間（本機を常温環境でお使いの場合）を目安に交換してください。交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

*この時間は、あくまでも交換の目安であり、ハードディスクの性能を保証するものではありません。

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL (06) 6901-1161